Genie
A TEREX BRAND

# 操作説明書

## GS™-3390
## GS™-4390
## GS™-5390

ANSI/CSA
North America
South America
Asia

メンテナンス情報付き

英語版操作説明書の翻訳
Sixth Edition
First Printing
Part No. 1331899JAGT

# 目次

はじめに.....1
シンボルと危険を表すイラストの定義.....5
一般的な安全.....8
作業員の安全.....12
作業場の安全.....13
説明.....22
操作パネル.....23
点検.....29
操作手順.....44
輸送および持ち上げの手順.....54
メンテナンス.....57
仕様.....61

Copyright © 2002 by Terex Corporation

第 6 版:初刷、11 月 2025

「Genie」は米国およびその他の国における Terex South Dakota, Inc. の登録商標です。「GS」は Terex South Dakota, Inc. の商標です。

本機械は
ANSI/SAIA A92.20
CAN/CSA B354.6 に適合しています。

# はじめに

## この説明書について

当社の製品をお選びいただき、ありがとうございます。当社はユーザーの安全を最優先に考えており、その達成には皆様のご協力が必要です。本著は、Genie 機械のユーザーもしくはオペレータのための操作および毎日の保守点検説明書となっています。

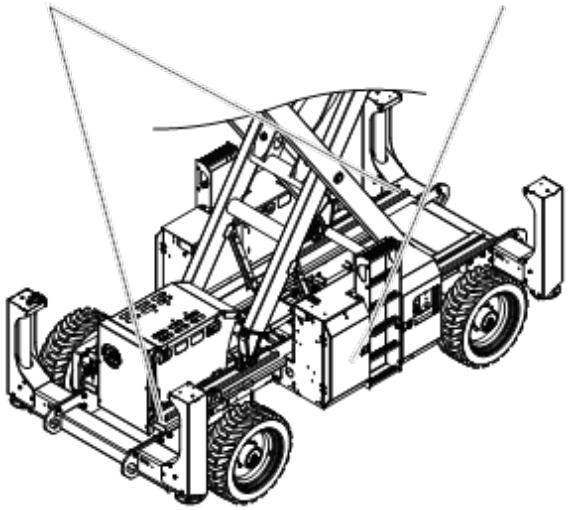
本説明書は機械の一部とみなされ、必ず機械と一緒に置かれていなければなりません。ご質問等がありましたら、Genie にお問い合わせください。

## 製品の識別

この機械のシリアル番号はシリアルラベルに記載されています。

シリアル番号はシャーシに記載

シリアルラベル（カバーの下）



## 用途および訓練ガイド

本機械は、作業員を工具や機材と共に高所作業場まで上げることを用途としています。機械を操作する前に、この訓練ガイドを読み、理解することはオペレータの任務です。

- ☑ 各作業員は可動式上昇作業台（MEWP）を操作するためのトレーニングを受けなければなりません。
- ☑ MEWP の訓練は認定され、技能を持ち、トレーニングされた担当者に実施されなければなりません。
- ☑ トレーニングを受け、認定された担当者のみが機械を操作することを許可されなければなりません。
- ☑ 操作説明書の製品取扱説明書と安全規則をよく読み、理解し、従うことはオペレータの任務です。
- ☑ 操作説明書は作業台のマニュアル保管場所にあります。
- ☑ 具体的な製品の適用性に関しては、次のページ記載の**「製造者への連絡」**を参照してください。

# はじめに

作業台操作の記号論とそれに関連する機械の動作は以下のとおりです。


リフト機能作動ボタン（ロッカースイッチを上下動時）


操舵右/左


アウトリガー機能ボタン（親指ロッカースイッチ上下動時）


アウトリガー自動水平ボタン（親指ロッカースイッチ上下動時）

地上操作の記号論とそれに関連する機械の動作は以下のとおりです。


リフト機能作動ボタン


作業台上昇ボタン


作業台下降ボタン

連続機能と動作は以下のとおりです。

- 走行および操舵。

インターロック機能は以下のとおりです。

- リフトおよび走行。
- 上昇時走行速度。
- 非水平状態での上昇時の走行。
- 全ての作業台および地上操作。

使用の制限は以下の場合です。

- 本機械は、作業員を工具や機材と共に高所作業場まで上げることを用途としています。
- 機械がしっかりとした平坦な地面に設置されている場合以外は、作業台を上昇させないでください。

# はじめに

## 通知の配布と準拠

製品ユーザーの安全は Genie の最優先事項です。数多くのさまざまな通知は Genie が販売業者および機械の所有者に重要な安全規約と製品情報を知らせるために使用されます。

通知に含まれる情報は、機械モデルとシリアル番号を使用して特定の機械に関連付けられています。

通知の配布は、お客様を担当している販売業者によって記録されている最新の所有者情報に基づいて行われます。そのため、ご利用の機械を登録し、連絡先情報を更新することは重要です。

従業員の安全、使用している機械の継続した安全な操作を保証するために、それぞれの通知に記載されている事項に必ず準拠してください。

ご利用の機械に関する公開されている通知は www.genielift.com にアクセスしてご確認ください。

## 製造者への連絡

Genie にご連絡いただく必要が出てくる場合があるかもしれません。その場合には、ご利用の機械のモデル番号とシリアル番号、またお客様のお名前とご連絡情報とを合わせて提供いただくためのご準備をお願いいたします。Genie にご連絡いただく事項には最小限であっても以下があります。

事故のご報告

製品の適用性および安全性に関するご質問

標準および法規制の順守情報

機械の所有権の変更、または連絡情報の変更などの現在の所有者情報の更新以下の「所有権の譲渡」を参照してください。

## 機械所有権の譲渡

所要時間数分で所有者情報を更新していただくと、ご利用の機械に適用する重要な安全、保守および操作に関する情報を取得できます。

www.genielift.com にアクセスしてただくか、またはフリーダイヤル 1-800-536-1800 までご連絡いただき、ご利用の機械をご登録ください。

# はじめに



## 危険

本説明書の操作指示と安全規則に従わなかった場合、死亡または重傷事故の原因となることがあります。

## 操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

**1 危険な状態での使用を避ける。**

**次のセクションに進む前に、安全規則を承知し理解する。**

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

☑ 製品取扱説明書と安全規則 ― 安全マニュアルおよび操作説明書と機械ステッカーをよく読み、理解し、それに従う。

☑ 従業員の安全規則と作業場所の規則をよく読み、理解し、それに従う。

☑ 該当するすべての法規をよく読み、理解し、それに従う。

☑ 使用者は安全に機械操作を行うための適切なトレーニングを受ける。

## 安全ステッカーの保守

安全ステッカーがない場合または破損している場合は、新しいステッカーを貼付します。常にオペレータの安全に配慮してください。安全ステッカーの汚れを取るには、刺激の少ないせっけんと水を使用します。安全ステッカーの素材を傷つける場合があるため、溶剤を使用したクリーナーを使用しないでください。

## 危険の分類

製品ステッカーは、識別しやすいよう、下記のようなシンボル、色別コード、および注意喚起語を使用しています。



安全警報マーク ― ケガの危険があることを知らせます。ケガや死亡の危険を避けるために、このシンボルの安全警告に従ってください。

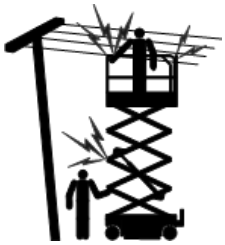
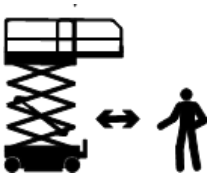
▲ 危険 回避しないと、重傷または死に至る危険があることを示します。

▲ 警告 回避しないと、重傷または死に至る可能性のある危険があることを示します。

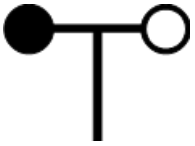
▲ 要注意 回避しないと、軽度または中程度のケガを負う可能性のある危険があることを示します。

注意 物品の損傷に関するメッセージです。

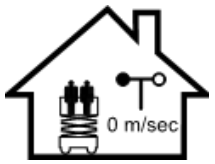
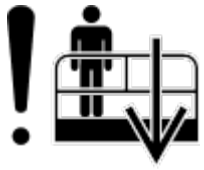
# シンボルと危険を表すイラストの定義

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
|  操作説明書を読んでください |  サービスマニュアルを読んでください |  挟まる危険 |  挟まる危険 |  衝突の危険 |
|  転倒の危険 |  転倒の危険 |  転倒の危険 |  転倒の危険 |  感電の危険 |
|  感電の危険 |  爆発の危険 |  火災の危険 |  やけどの危険 |  皮膚への噴射の危険 |
|  安全アームをセットしてください |  可動部に近づかないでください |  アウトリガーやタイヤに近づかないでください |  平らな地面に機械を移動してください |  シャーシ台を閉じてください |

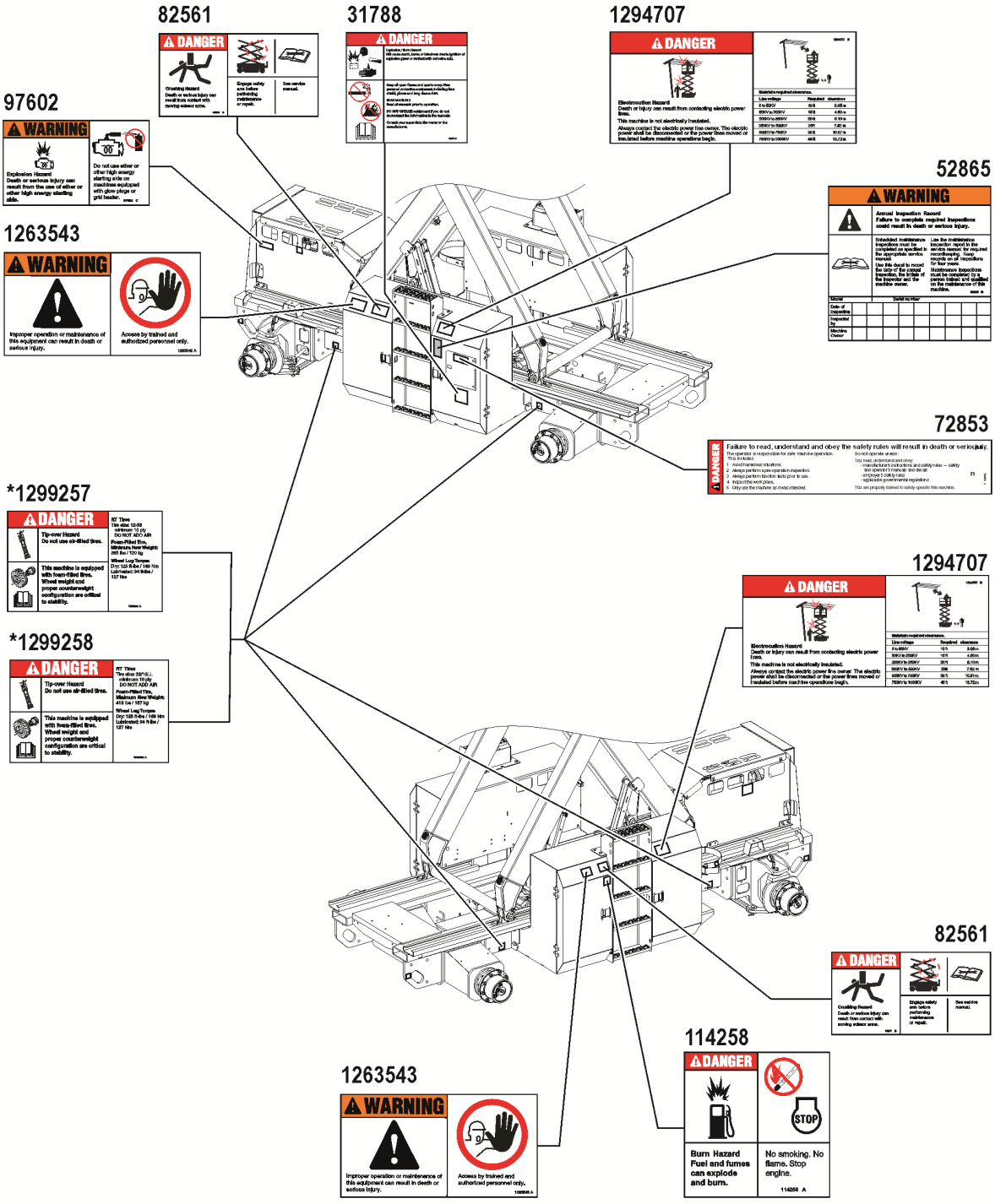
# シンボルと危険を表すイラストの定義

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
|  |  |  |  |  |
| 作業台を下げます | アウトリガーで水平にできない場所に設置しないでください | 必要な間隔を維持してください | 適切なトレーニングを受けたメンテナンス担当者以外は、これらのコンパートメントへの作業を行わないでください | 紙類を使用して漏れを調べてください |
|  |  |  |  |  |
| 輪止めをかましてください | ブレーキを解除してください | 荷締めの手順 | 安全帯固定場所 | 禁煙 |
|  |  |  |  |  |
| 車輪荷重 | 吊り上げ点 | 外圧 | 風速 | アウトリガー負荷 |

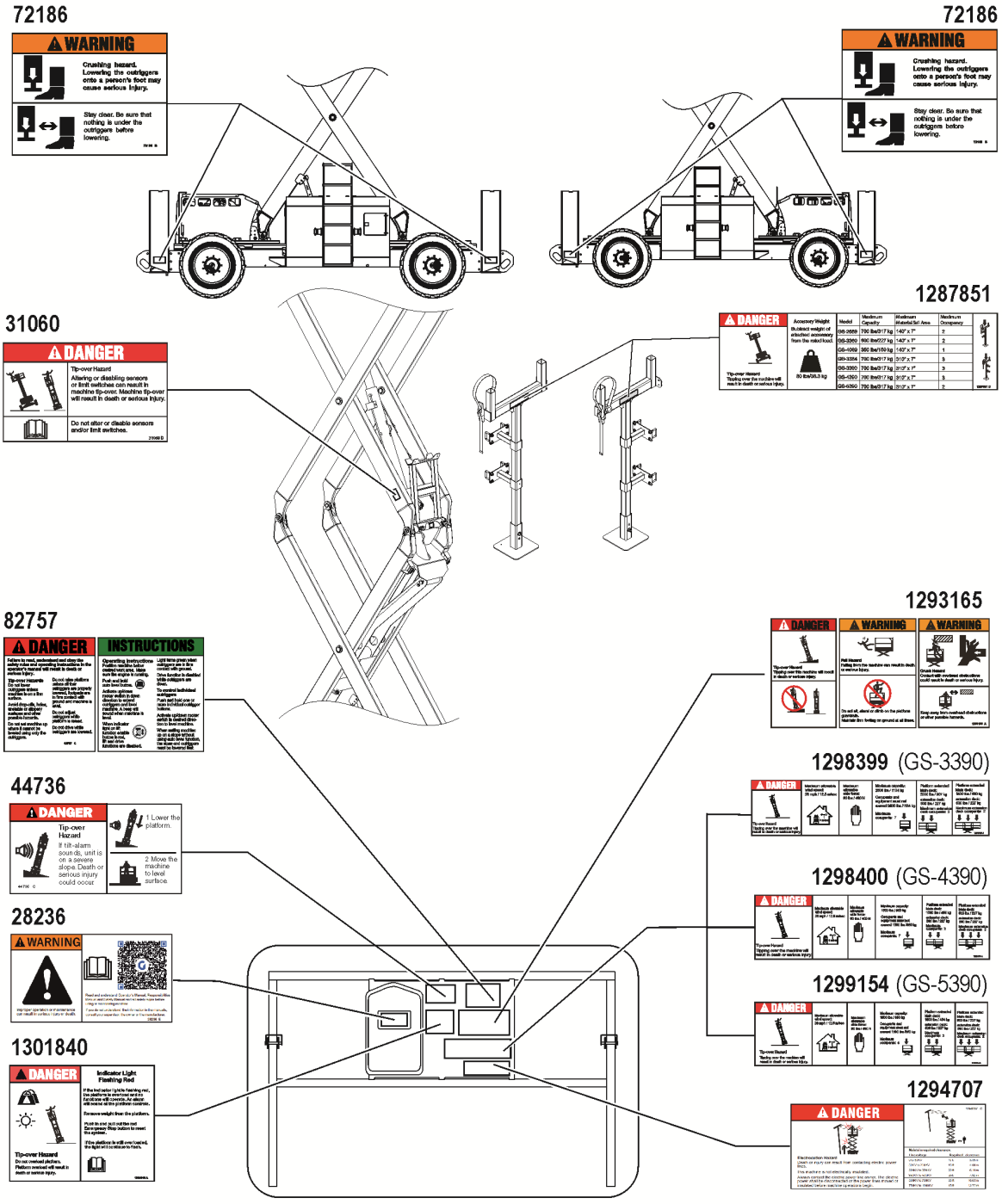
# シンボルと危険を表すイラストの定義

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
|  |  |  |  |  |
| 作業台への電力の定格電圧 | 作業台への空気配管の定格圧力 | 最大積載荷重量 | 挟まる危険 | 下降中は手摺りを握ってください |
|  |  |  |  |  |
| 衝突の危険 | 輪止めをかましてください | 作業台過負荷 | 屋内使用のみ | 補助下降 |
|  | | | | |
| 輸送図 | | | | |

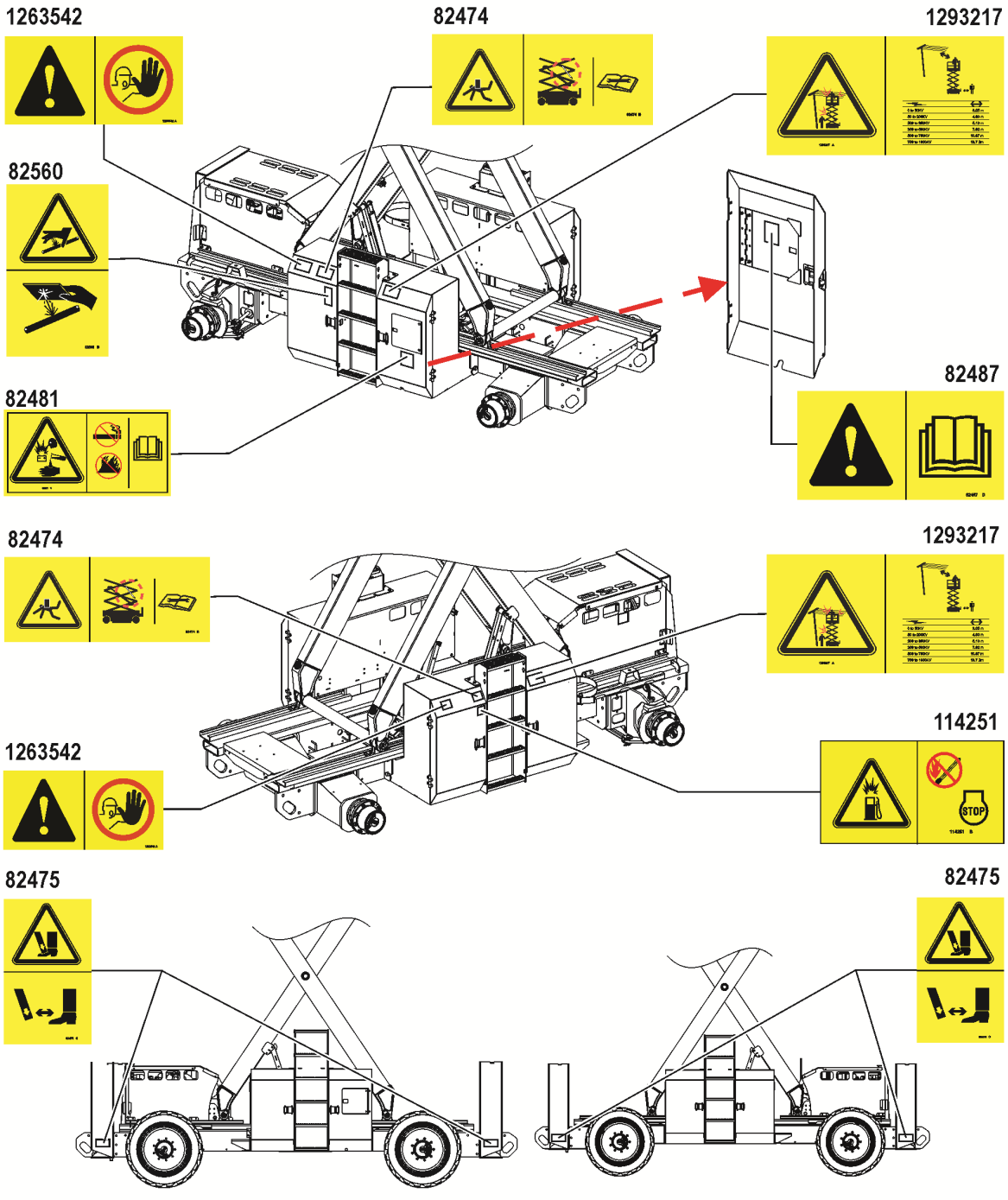
# 一般的な安全


82561
31788
1294707
97602
52865
1263543
72853
*1299257
1294707
*1299258
82561
114258
1263543
DANGER
WARNING
Burn Hazard Fuel and fumes can explode and burn.
No smoking. No flame. Stop engine.
STOP

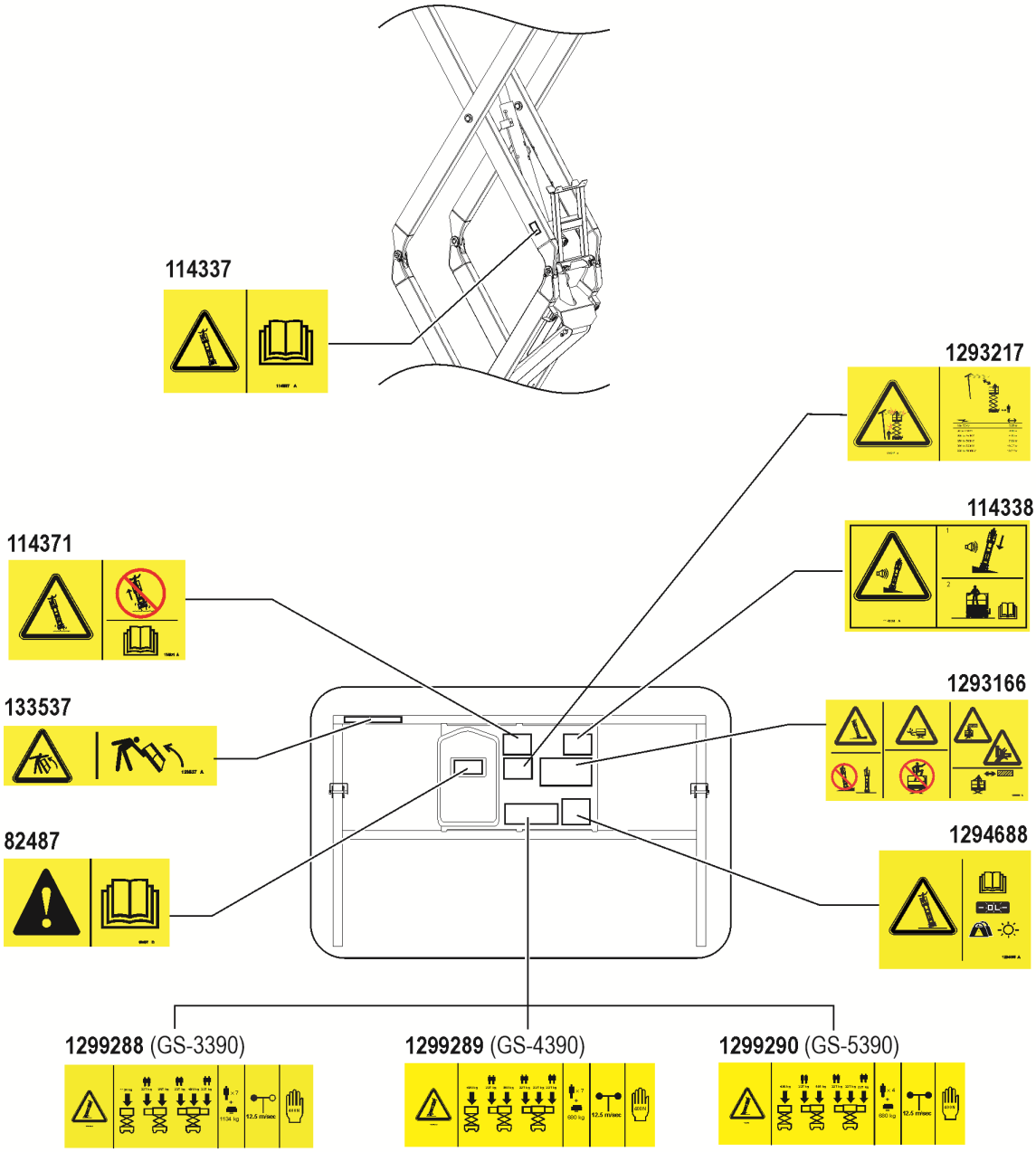
# 一般的な安全


72186
WARNING
Crushing hazard. Lowering the outriggers onto a person's foot may cause serious injury.
Stay clear. Be sure that nothing is under the outriggers before lowering.
72186
WARNING
Crushing hazard. Lowering the outriggers onto a person's foot may cause serious injury.
Stay clear. Be sure that nothing is under the outriggers before lowering.
1287851
DANGER
31060
DANGER
Tip-over Hazard
Altering or disabling sensors or limit switches can result in machine tip-over. Machine tip-over will result in death or serious injury.
Do not alter or disable sensors and/or limit switches.
82757
DANGER
INSTRUCTIONS
1293165
DANGER
WARNING
WARNING
1298399 (GS-3390)
DANGER
44736
DANGER
Tip-over Hazard
If tilt-alarm sounds, unit is on a severe slope. Death or serious injury could occur.
1 Lower the platform.
2 Move the machine to level surface.
1298400 (GS-4390)
DANGER
28236
WARNING
1299154 (GS-5390)
DANGER
1301840
DANGER
Indicator Light Flashing Red
Tip-over Hazard
1294707
DANGER

# 一般的な安全


1263542
82474
1293217
82560
82481
82487
82474
1293217
1263542
114251
STOP
82475
82475

# 一般的な安全


114337
1293217
114338
114371
133537
1293166
82487
1294688
1299288 (GS-3390)
1299289 (GS-4390)
1299290 (GS-5390)

# 作業員の安全

## 作業員の落下防止

この機械を操作するとき、落下防止装置 (PFPE) の着用は必要ありません。PFPE が作業場規則や従業員規則で義務付けられている場合、以下が適用されます。

PFPE はすべて適合する法規に準拠したもので、取扱説明書の指示に従って点検され使用されなければなりません。

# 作業場の安全

## ⚠ 感電の危険

この機械は絶縁されておらず、電流との接触または電流への近接に対する保護は施されていません。



電線から離す必要のある距離については、地域および国のすべての規制に従ってください。少なくとも、以下の表に記載の必要距離を空けなければなりません。

| 線間電圧 | | 必要な距離 |
|---|---|---|
| 0 ～ 50KV | 10 ft | 3.05 m |
| 50 ～ 200KV | 15 ft | 4.60 m |
| 200 ～ 350KV | 20 ft | 6.10 m |
| 350 ～ 500KV | 25 ft | 7.62 m |
| 500 ～ 750KV | 35 ft | 10.67 m |
| 750 ～ 1000KV | 45 ft | 13.72 m |

作業台の動きや電線の揺れやたるみを考慮にいれ、強風および突風に注意してください。



通電している電線に機械が接触している場合は、機械に近づかないでください。地上もしくは作業台の従業員は、電線の電気が止められるまで、絶対に機械に触れたり操作したりしないでください。

雷や暴風などの悪天候下では、機械を操作しないでください。

溶接するときに、機械をアースとして使用しないでください。

## ⚠ 転倒の危険

作業員、装備、および機材は、作業台最大積載荷重量または作業台延長時の最大積載荷重量を超えてはなりません。

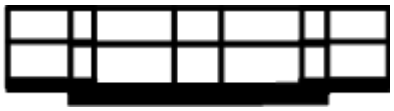
| 延長デッキ最大許容量 | |
|---|---|
| 最大作業員数 | 2 人<br>（各延長デッキ） |
| 延長デッキのみ | 500 lbs/227 kg<br>（各延長デッキ） |

| 最大積載荷重量 – GS-3390 | | |
|---|---|---|
| 最大作業員数 | | 7 |
| **1 つの作業台延長部付きのモデル** | | |
| 収納された作業台 | 2,500 lbs | 1,134 kg |
| 作業台のみ | 2,000 lbs | 907 kg |
| 延長台のみ | 500 lbs | 227 kg |



| 延長台のみ | 作業台のみ |
|---|---|
| 500 lbs/227 kg | 2,000 lbs/907 kg |

| **2 つの作業台延長部付きのモデル** | | |
|---|---|---|
| 収納された作業台 | 2,500 lbs | 1,134 kg |
| 1 つの延長部が出ている作業台 | 2,000 lbs | 907 kg |
| 2 つの延長部が出ている作業台 | 1,500 lbs | 680 kg |
| 各延長部のみ | 500 lbs | 227 kg |



| 延長台のみ | 作業台のみ | 延長台のみ |
|---|---|---|
| 500 lbs/227 kg | 1,500 lbs/680 kg | 500 lbs/227 kg |

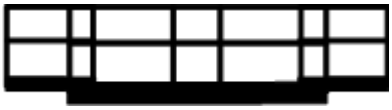
# 作業場の安全

| 最大積載荷重量 – GS-4390 | | |
|---|---|---|
| **最大作業員数** | | 7 |
| **1 つの作業台延長部付きのモデル** | | |
| 収納された作業台 | 1,500 lbs | 680 kg |
| 作業台のみ | 1,000 lbs | 454 kg |
| 延長台のみ | 500 lbs | 227 kg |



| 延長台のみ | 作業台のみ |
|---|---|
| 500 lbs/227 kg | 1,000 lbs/454 kg |

| **2 つの作業台延長部付きのモデル** | | |
|---|---|---|
| 収納された作業台 | 1,500 lbs | 680 kg |
| 1 つの延長部が出ている作業台 | 1,000 lbs | 454 kg |
| 2 つの延長部が出ている作業台 | 500 lbs | 227 kg |
| 延長台のみ | 500 lbs | 227 kg |



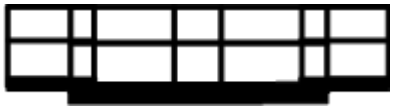
| 延長台のみ | 作業台のみ | 延長台のみ |
|---|---|---|
| 500 lbs/227 kg | 500 lbs/227 kg | 500 lbs/227 kg |

| 最大積載荷重量 – GS-5390 | | |
|---|---|---|
| **最大作業員数** | | 4 |
| **1 つの作業台延長部付きのモデル** | | |
| 収納された作業台 | 1,500 lbs | 680 kg |
| 作業台のみ | 1,000 lbs | 454 kg |
| 延長台のみ | 500 lbs | 227 kg |



| 延長台のみ | 作業台のみ |
|---|---|
| 500 lbs/227 kg | 1,000 lbs/454 kg |

| **2 つの作業台延長部付きのモデル** | | |
|---|---|---|
| 収納された作業台 | 1,500 lbs | 680 kg |
| 1 つの延長部が出ている作業台 | 1,000 lbs | 454 kg |
| 2 つの延長部が出ている作業台 | 500 lbs | 227 kg |
| 各延長部のみ | 500 lbs | 227 kg |



| 延長台のみ | 作業台のみ | 延長台のみ |
|---|---|---|
| 500 lbs/227 kg | 500 lbs/227 kg | 500 lbs/227 kg |

# 作業場の安全



機械がしっかりとした平坦な地面に設置されている場合以外は、作業台を上昇させないでください。



水平位置の指標として傾斜アラームに依存しないでください。傾斜アラームは、機械が急な斜面上にある場合にのみシャーシ上で鳴ります。

傾斜アラームが鳴った場合は、次の操作を行います。
作業台を下げます。機械を安定した平坦な地面に移動します。作業台が上がっている状態で傾斜アラームが鳴った場合、細心の注意を払って作業台を下げてください。

リミットスイッチまたは角度センサーを改造したり、使用不能な状態にしないでください。

作業台を上昇したままの状態で 0.7 mph/時速 1.1 km 以上で走行しないでください。

近くの構造物に挟まったり、引っ掛かったりして、通常の運行を妨げられている作業台を、作業台操作を使用して解放しようとしないでください。作業員が作業台から降りてから、地上操作を使用して作業台を解放してください。



作業台の外にある物体を押したり、引っ張ったりしないでください。

| 最大許容外圧力 | |
|---|---|
| **GS-3390** | 90 lbs/400 N |
| **GS-4390** | 90 lbs/400 N |
| **GS-5390** | 90 lbs/400 N |

機械をクレーンとして使用しないでください。

作業台を使って機械や他の物体を押さないでください。

作業台を近辺の建造物に接触させないでください。

作業台を近辺の建造物につながないでください。

作業台の周囲から荷物が突き出ないようにしてください。

# 作業場の安全

風速が秒速 28 mph / 12.5 m を超える場合は作業台を上げないでください。秒速 28 mph / 12.5 m 以上の風速のもとで作業台を上げている場合は、作業台を下げ、機械の操作を中止してください。



強風や突風の状況で機械を操作しないでください。作業台や積荷の表面積を大きくしないでください。風にあたる面積が増えるにつれて機械の安定性が低下します。



水平でない不安定な地面やその他の危険な状況では、作業台を上昇させて機械を走行させないでください。

平らでない場所、障害物のある場所、不安定な場所、または滑りやすい場所を、収納した状態で走行しているとき、あるいは、くぼみや急に低くなっている場所の近辺で走行しているときは、細心の注意を払うとともに、機械を減速してください。

機械の部品を改造したり、使用不能にしたりしないでください。機械の安全性と安定性に影響します。

機械の安定性に影響する部品を、重量や仕様の異なるものと取り替えないでください。

製造元の書面による事前の許可なしに、可動式上昇作業台を変更、または改造しないでください。工具や他の機材を収納するためのアタッチメントを作業台、踏み板、またはガードレールに取り付けると、作業台の重量および作業台や積荷の表面積を増大させます。



機械から荷物をぶら下げたり、取り付けたりしないでください。



はしごや足場を作業台に設置しないでください。また、本機械のどの部分にも立てかけないでください。

工具や機材を運ぶ場合は、作業台に均等に配置し、作業員が作業台で安全に使用できるようにしてください。

動いている、または動く可能性のある表面、もしくは車両上で機械を使用しないでください。

タイヤの状態がすべて良好であり、タイヤに適切に空気が入れられていること、およびラグナットが適切に締められていることを確認してください。

# 作業場の安全

## ⚠ 傾斜面での操作の危険性

機械の定格勾配を超える傾斜や横傾斜では、機械を走行しないでください。勾配の定格値は、機械が収納状態の場合に適用されます。

| モデル | 最大勾配の定格値、収納状態 | 最大定格横勾配、収納状態 |
|---|---|---|
| **GS-3390 GS-4390** | 50%（26°） | 50% (26°) |
| **GS-5390** | 40% (22°) | 40%（22°） |

注記：定格勾配は、1 名の作業員が作業台にいる場合と車輪と地面との摩擦の状態により異なります。作業台への追加の重量は定格勾配を低減する場合があります。操作手順の「傾斜面における走行」のセクションを参照してください。

## ⚠ 落下の危険

手摺りは落下防止用です。もし作業台にいる作業員が作業場規約や従業員規約により落下防止装備（PFPE）を着用する必要がある場合は、PFPE 装備とその使用方法は PFPE 製品メーカーの指示や適合する法規に従って実施してください。備え付けられている承認された安全帯取り付け場所を使用してください。



作業台の手摺りの上に座ったり、立ったり、登ったりしないでください。作業台の上では常にしっかりとした足場を確保してください。



作業台が上がっている状態で、作業台から降りないでください。

作業台の床面は、常にきれいにしておいてください。

機械が作業台収納位置にない場合は、作業台に入ったり作業台から出たりしないでください。

# 作業場の安全

操作する前に、作業台に出入口チェーンを取り付けるか、出入口ゲートを閉めてください。

手摺りがしっかりと設置され、出入口がしっかりと閉められるまでは、機械を操作しないでください。

機械が高い位置の時に作業員が機械から出ようとする特定の場合の危険性については、設計の時に想定されています。詳細は Genie にお問い合わせください(「製造者への連絡」を参照)。

## ⚠ 衝突の危険



走行中または操作中は、視界の限度および死角に注意してください。

機械を移動する際は延長作業台の位置に注意してください。

ブレーキを解除する場合は、必ず機械を水平な地面に止めてから、もしくは固定してから行ってください。

作業員は、安全装備の使用において、従業員規則、作業場規則、および適合する法規に従わなければなりません。



作業場において、頭上に障害物もしくは他に危険なものがないことを確認してください。



作業台の手摺りにつかまっているときは、手を挟まないよう注意してください。

作業台操作の色別方向矢印および走行とステアリング機能用の作業台ステッカープレートをよく見ながら、操作してください。

# 作業場の安全



作業台を下げるときは、必ず作業台の下に人がいないこと、また障害物になるものがないことを確かめてから行ってください。



路面の状態、交通量、傾斜、人の位置、およびその他追突の要因となるものに従って、走行速度を制限してください。

頭上で作動中の機械あるいはクレーンの軌道上においては、クレーンの制御がロックされ、さらに衝突を防ぐための予防措置がとられていない限り、機械を操作しないでください。

機械の操作時は、危険な走行や乱暴な運転をしないでください。

## ⚠ 人体への傷害の危険

一酸化炭素中毒を避けるため、常によく換気された場所で機械を操作してください。

作動油や空気が漏れている状態で機械を操作しないでください。空気や作動油が漏れると、皮膚に染み込んだり、やけどを負う原因となります。

カバーの下の部品に不用意に触れると重傷を負うことがあります。適切なトレーニングを受けたメンテナンス担当者以外は、これらのコンパートメントへの作業を行わないでください。オペレータは、作業前の点検を行うときのみにこれらのコンパートメントにアクセスしてください。機械の操作中は、すべてのコンパートメントがしっかりと閉じられていなければなりません。

## ⚠ 部品の損傷の危険

ブースターケーブルを使ってエンジンを始動する場合は、12V より高いバッテリーもしくは充電器を使用しないでください。

溶接するときに、機械をアースとして使用しないでください。

非常に磁気の高い場所が近くに存在するような現場では、機械を操作しないでください。

# 作業場の安全

## ⚠ 爆発と火災の危険

LP ガス、ガソリン、ディーゼル、または他の爆発性物質の臭いがする場合、あるいはそれらを検知した場合は、エンジンを始動しないでください。

エンジンが作動している状態で、燃料を補給しないでください。

燃料の補給とバッテリーの充電は、火花、炎、または火のついたタバコのない、換気された広い場所で行ってください。

可燃性ガス、爆発性ガス、もしくは微粒子が存在する危険な場所では、機械を操作したり、バッテリーを充電したりしないでください。

グロープラグを搭載したエンジンにエーテル製スプレーをかけないでください。

## ⚠ 機械故障の危険

損傷もしくは故障している機械は使用しないでください。

作業シフトの前に、機械の操作前の点検を完全に行い、すべての機能をテストしてください。損傷もしくは故障している機械は、直ちに故障の貼り紙を付けて、作業を中止してください。

本説明書と Genie サービスマニュアルに記載されているすべてのメンテナンスを必ず行ってください。

すべてのステッカーが適切な位置にあり、文字が読める状態であることを確認してください。

オペレータの安全と責任に関するマニュアルが完備され、読める状態で、機械の保管場所に保管されているようにしてください。

## ⚠ 手のケガの危険

手や腕をシザーズに近づけないでください。

地上からコントローラを使って機械を操作する際は、常識的な判断をもって行ってください。オペレータ、機械、固定物との間には安全な距離を保ってください。

レール ピンを取り外すときは、作業台の手摺りをしっかりと握ってください。作業台の手摺りを下げないでください。

# 作業場の安全

## ⚠ アウトリガーの安全

### 転倒の危険

機械がしっかりとした平坦な地面に設置されている場合以外は、アウトリガーを下降させないでください。不安定な場所、滑りやすい場所、くぼみや急に低くなっている近辺、あるいは他の危険な状態で機械を操作しないでください。

自動水平機能が使用されておらず、各アウトリガーを下降する場合は、操舵側のアウトリガーを一番最初に下降しなければなりません。

機械が水平な状態にある場合以外は作業台を上げないでください。アウトリガーのみを使って機械を水平な状態にできない地面では、機械をセットアップしないでください。

4 つのアウトリガーすべてが適切に下がり、フットパッドが地面にしっかりと接触し、機械が水平な状態にある場合以外は、作業台を上げないでください。

作業台が上がっている状態でアウトリガーを調整しないでください。

アウトリガーを下げたまま走行しないでください。

## ⚠ バッテリーの安全管理

### やけどの危険



バッテリーには酸が入っています。バッテリーを扱うときには、必ず保護服と保護メガネを着用してください。

バッテリーの酸をこぼしたり酸に触れたりしないようにしてください。バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。

充電中はバッテリーまたは充電器を水や雨にさらさないでください。

### 爆発の危険







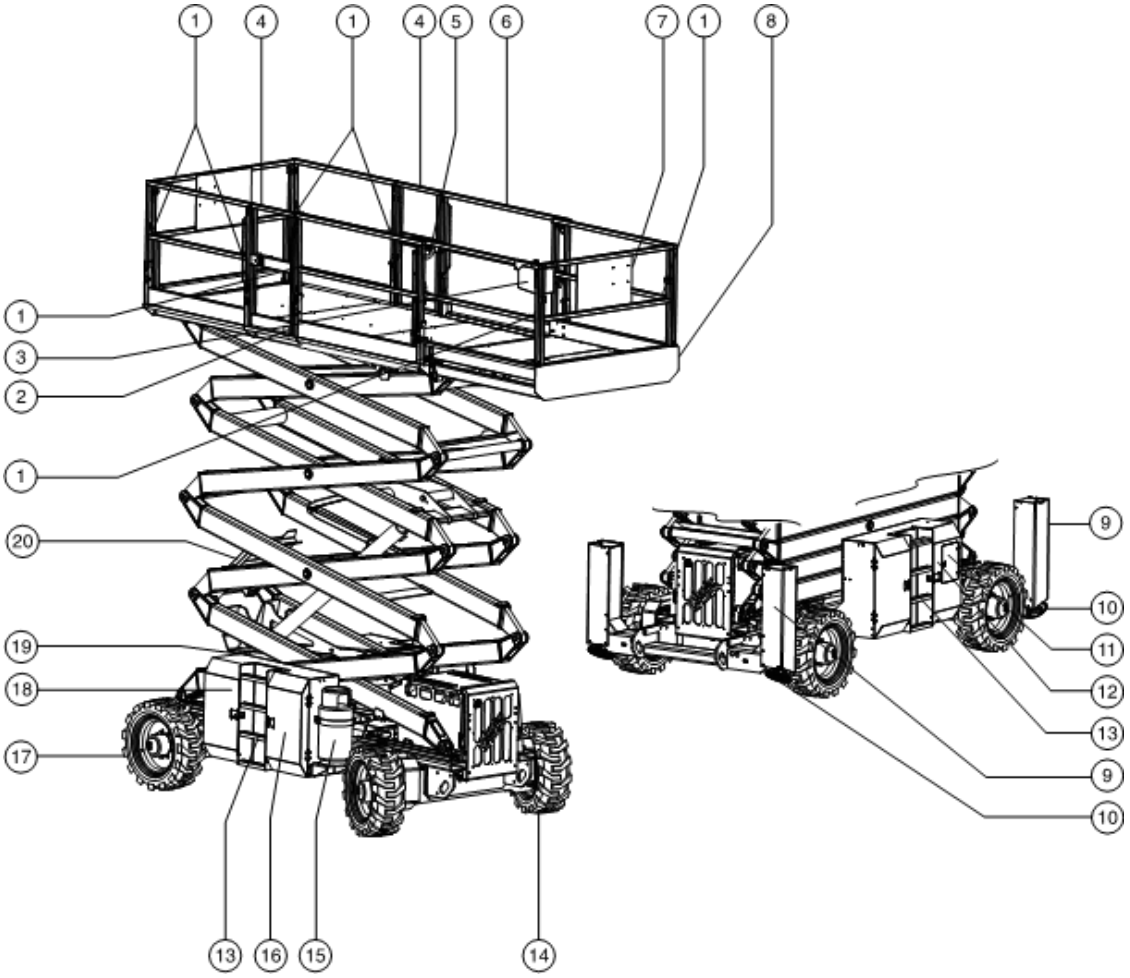
火花、炎、火のついたタバコなどをバッテリーに近づけないでください。バッテリーは爆発性ガスを放出します。

バッテリー端子またはケーブル留め金に金属製の工具で触れると火花を発することがあります。工具を使用するときは、接触させないように注意してください。

### 部品損傷の危険

バッテリーの充電には、24V トより高い電圧の充電器を使用しないでください。

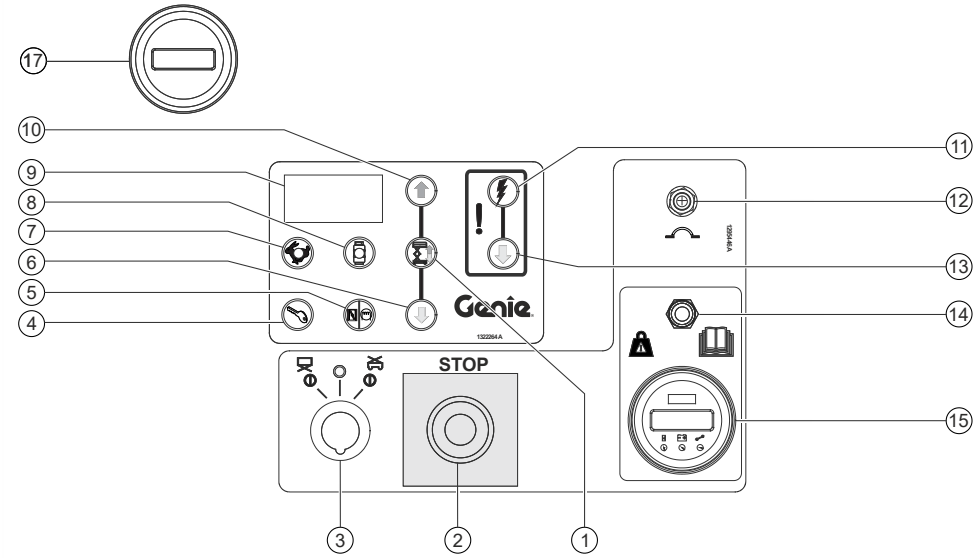
# 説明



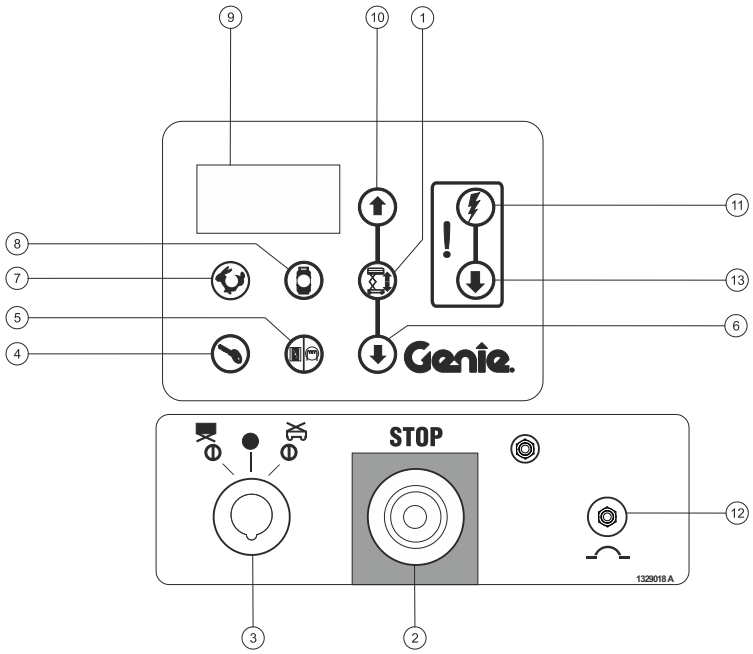

1 安全帯固定場所
2 GFCI コンセント
3 作業台操作パネル
4 作業台出入口ゲート
5 作業台延長部ロックハンドル
6 作業台手摺り
7 マニュアル保管場所
8 作業台延長部
9 アウトリガー ハウジング（アウトリガーに装備されている場合）
10 アウトリガー フットパッド（アウトリガーに装備されている場合）
11 LCD 表示画面付き地上操作パネル
12 傾斜アラーム（地上操作パネルの裏側）
13 出入口はしご
14 操舵輪
15 LPG タンク
16 油圧タンク（カバー後ろ）
17 非操舵側タイヤ
18 燃料タンク（カバーの裏側）
19 作業台への電力（隠れて見えない）
20 安全アーム（隠れて見えない）

# 操作パネル

地上操作ステーションは、機能テストおよび保管のための上昇手段として使用します。地上操作ステーションは、非常事態の際に、作業台に閉じ込められた作業員を救出するために使用することができます。

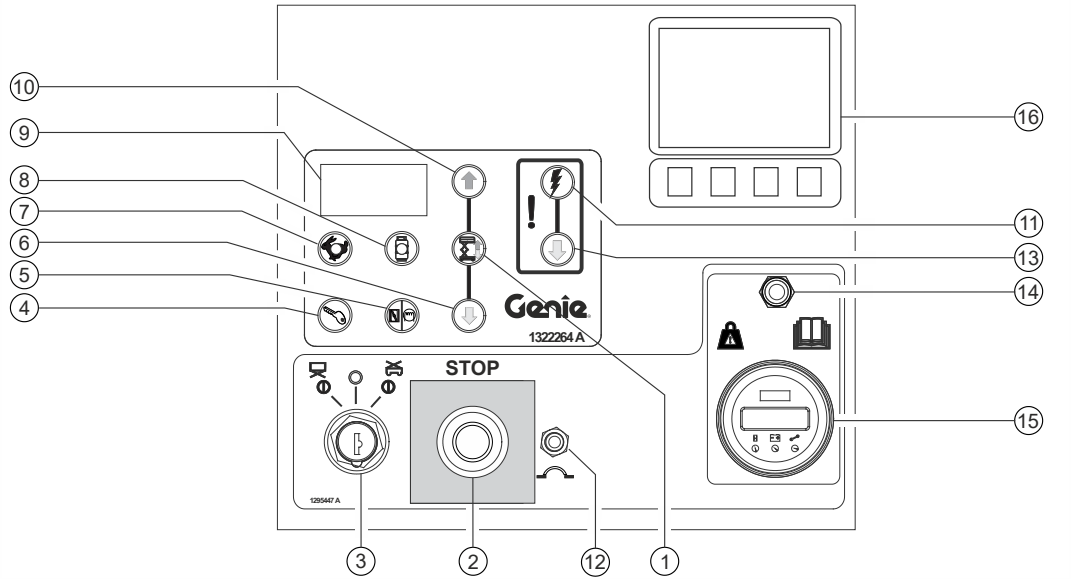



**もしくは**

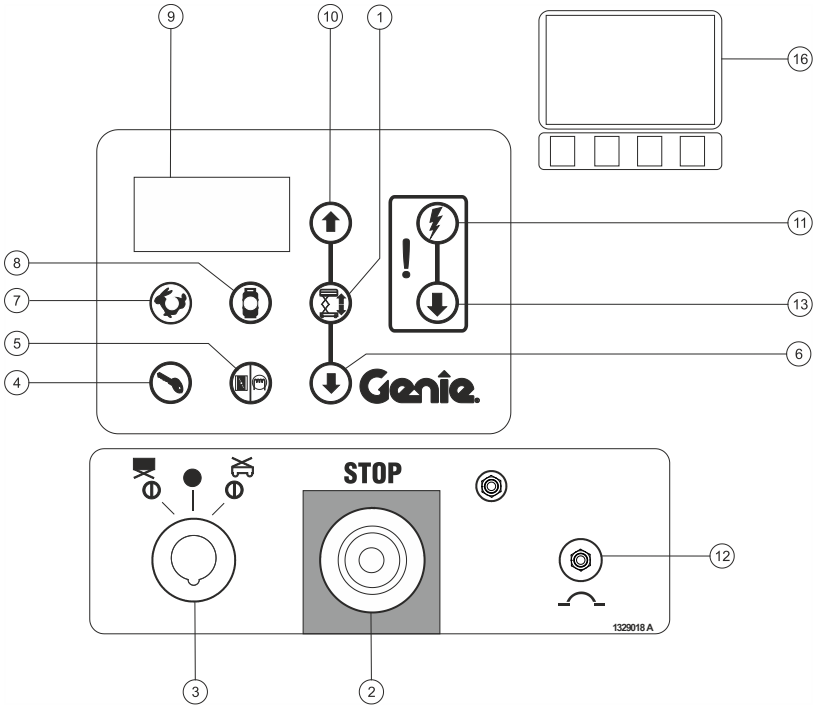



**地上操作パネル のために Ford MSG-425 EFI、Deutz D2011 L03i、Deutz D436 エンジン**

# 操作パネル




**もしくは**




**地上操作パネル のために Deutz D2.9 L4、Deutz TD 2.2 49 HP、Weichai WP3.2 エンジン**

# 操作パネル

## 地上操作パネル

1 リフト機能作動ボタン

このボタンを押すと、リフト機能が作動します。

2 赤色非常停止ボタン

赤色非常停止ボタンを押し込んで OFF（オフ）の位置にすると、全機能が停止します。赤色非常停止ボタンを引いて ON（オン）の位置にして、機械を操作します。

3 作業台/オフ/地上操作選択用キースイッチ

キースイッチを作業台の位置に回すと、作業台操作パネルが作動します。キースイッチを OFF (オフ) の位置に回すと、機械はオフになります。キースイッチを地上位置まで回すと、地上操作が作動します。

4 エンジン始動ボタン

このボタンを押すとエンジンが始動します。

5 ガソリン/LPG モデル：チョークボタン
このボタンを押すと、チョーク機能が作動します。

ディーゼルモデル：グロープラグ ボタン
このボタンを押すと、グロープラグが作動します。

6 作業台下降ボタン

このボタンを押すと、作業台が下降します。

7 エンジンアイドリング選択ボタン、表示ランプ付き

このボタンを押すと、エンジンアイドリング設定が選択されます。ランプの点灯は、高アイドリングが選択されていることを示します。ランプの消灯は、低アイドリングが選択されていることを示します。

8 ガソリン/LPG モデル：LPG 選択ボタン、表示ランプ付き

このボタンを押して、燃料を選択します。ランプの点灯は、LPG が選択されていることを示します。ランプの消灯は、ガソリンが選択されていることを示します。

9 LCD 出力画面

10 作業台上昇ボタン

このボタンを押すと、作業台が上昇します。

11 補助下降機能作動ボタン

このボタンを押すと、補助電源機能が作動可能になります。

12 システム回路用 20A 回路ブレーカー

13 補助下降ボタン

このボタンを押すと、補助下降機能が作動します。

14 負荷検出較正スイッチ（詳細はサービスマニュアルを参照してください。）

15 負荷検出較正表示部（詳細はサービスマニュアルを参照してください。）

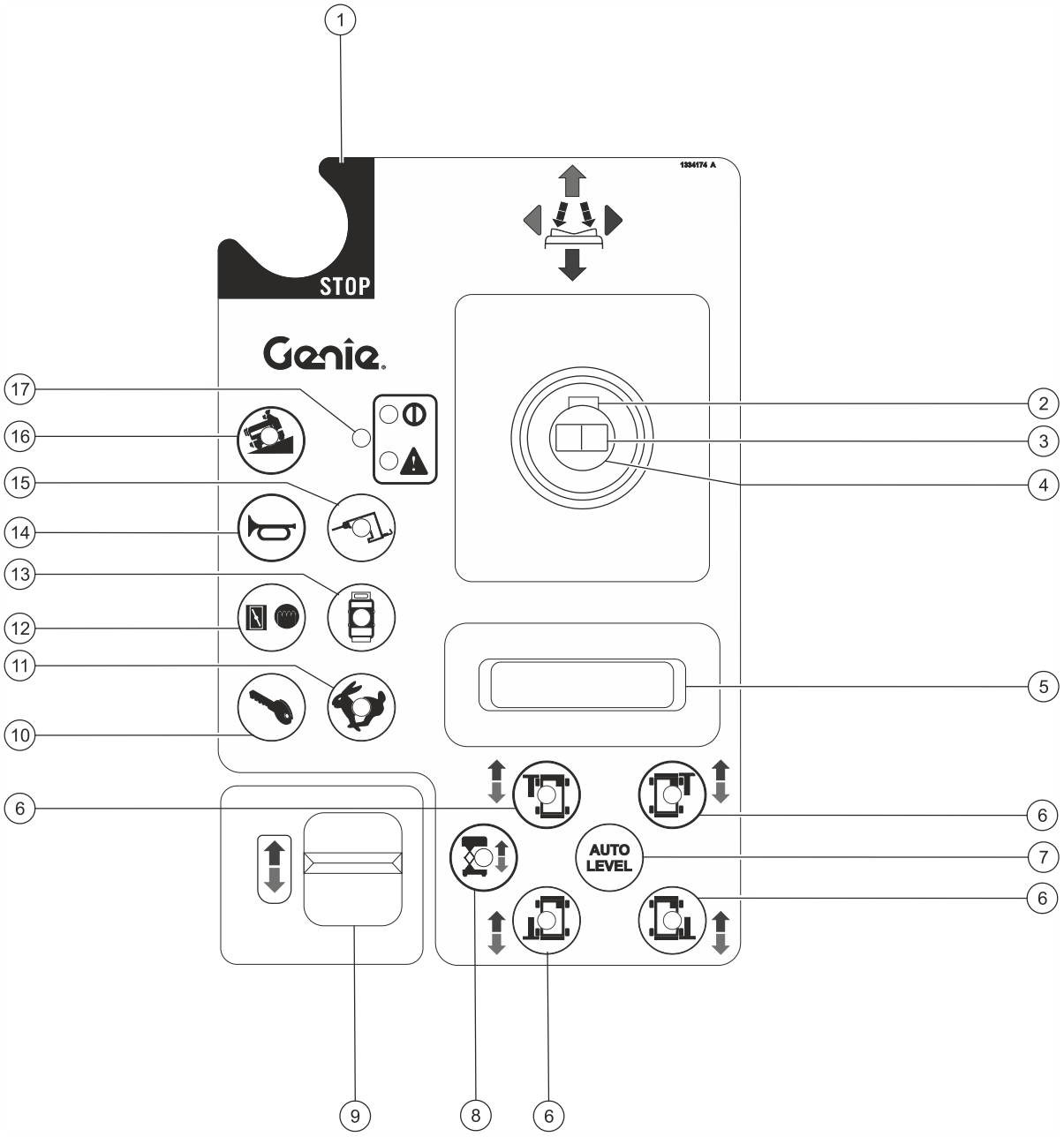
16 LCD 出力画面（搭載されている場合）

画面には、時間計、電圧、油圧および冷却水温度が表示されます。また、故障コードとその他の点検情報も表示されます。

17 時間計（搭載されている場合）

時間計は、機械を操作した時間数を表示します。

# 操作パネル




**作業台操作パネル**

# 操作パネル

## 作業台操作パネル

1 赤色非常停止ボタン

赤色非常停止ボタンを押してオフの位置にすると、全機能が停止し、エンジンがオフになります。赤色非常停止ボタンを引いてオンの位置にして、機械を操作します。

2 機能作動スイッチ

コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにすると、走行機能の作動が可能になります。

3 ステアリング機能用サムロッカースイッチ

ロッカースイッチの左側を押すと、機械が左に曲がります。

ロッカースイッチの右側を押すと、機械が右に曲がります。

4 走行機能用比例コントロールハンドル

コントロール ハンドルを操作パネルの青い矢印の方向に動かすと、青い矢印が指す方法へ機械が動きます。コントロール ハンドルを操作パネルの黄色の矢印の方向に動かすと、黄色の矢印が指す方法へ機械が動きます。

5 リスト レスト

6 表示ランプ付きのアウトリガー機能作動ボタン

このボタンを押すと、各アウトリガーの上昇/下降機能が作動します。

7 アウトリガー自動水平ボタン

このボタンを押すと、自動水平機能が作動します。

8 リフト機能作動ボタン、表示ランプ付

このボタンを押すと、リフト機能の作動が可能になります。

9 アウトリガー上昇/下降およびプラットフォーム上昇/下降用比例ロッカースイッチ

自動水平ボタン表示ランプが点灯している状態で、ロッカースイッチを上げると、アウトリガーが上昇します。ロッカースイッチを下げると、アウトリガーが下降します。

各アウトリガー作動ボタン表示ランプが点灯している状態で、ロッカースイッチを上げると、アウトリガーが上昇します。ロッカースイッチを下げると、アウトリガーが下降します。

リフト機能作動ボタン表示ランプが点灯している状態で、ロッカースイッチを上げると、作業台が上昇します。ロッカースイッチを下げると、作業台が下降します。

10 エンジン始動ボタン

このボタンを押すとエンジンが始動します。

11 エンジンアイドリング選択ボタン、表示ランプ付き

このボタンを押すと、エンジンアイドリング設定が選択されます。ランプの点灯は、高アイドリングが選択されていることを示します。ランプの消灯は、低アイドリングが選択されていることを示します。

12 ガソリン/LPG モデル：チョークボタン

このボタンを押すと、温度の低い状態でのエンジン始動が補助されます。

ディーゼルモデル：グロープラグ ボタン

このボタンを押すと、温度の低い状態でのエンジン始動が補助されます。

# 操作パネル

13 ガソリン/LPG モデル:LPG 選択ボタン、表示ランプ付き

このボタンを押すと、LPG が選択されます。

14 ホーンボタン

このボタンを押すと、ホーンが鳴ります。ボタンを離すと、ホーンが止まります。

15 発電機選択ボタン、表示ランプ付き

このボタンを押すと、発電機がオンになります。表示ランプが点灯します。このボタンをもう一度押すと、発電機がオフになります。

16 傾斜面上機械ボタン、表示ランプ付き 傾斜に備えた低速度操作

このボタンを押すと、傾斜面用の低速運転が選択されます。

17 緑電源ランプ/赤エラー表示ランプ

赤色非常停止ボタンを引いて ON (オン) にしているときには、緑色電源ランプが点灯します。

エラー表示ランプがついている時は、赤色非常停止ボタンを押しこんで、次に引いて、システムをリセットしてください。赤色ランプがついたままの状態の場合は、故障中の貼り紙をつけて機械の使用を中止してください。

# 点検



## 操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

**2 常に操作前の点検を行う。**

**次のセクションに進む前に、操作前の点検についてよく理解してください。**

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

## 操作前の点検の基本

操作前の点検と規定保守はオペレータが責任をもって行ってください。

操作前の点検とは、各シフトまたはオペレータの交代の前にオペレータが行う目視点検です。この点検はオペレータが機能テストを行う前に、目で点検して異常な箇所を見つけることを目的としています。

さらに操作前の点検によって、規定保守作業が必要かどうかを判断します。オペレータは、本説明書で指定されている規定保守項目のみを行ってください。

次のページのリストを参照し、それぞれの項目を確認してください。

損傷または工場出荷時の状態からの無許可での改造を発見した場合は、機械に故障中の貼り紙をつけて使用を停止してください。

機械の修理は、認定を受けたサービス担当者のみが製品仕様に基づいて行ってください。修理完了後、オペレータは機能テストに移る前に再度操作前の点検を行ってください。

定期保守点検は、認定を受けたサービス担当者が製品仕様と責務マニュアルに記載されている要項に基づいて行ってください。

試験および検査に関するすべての地域と政府の規制に従ってください。

# 点検

## 操作前の点検

- ❑ オペレータの安全と責任に関するマニュアルが完備され、文字が読める状態で、作業台の保管場所に保管されていることを確認してください。
- ❑ すべてのステッカーが、文字が読める状態で所定の位置にあるか確認します。「点検」のセクションを参照してください。
- ❑ 作動油の漏れがなく、量が適当であることをチェックしてください。必要に応じてオイルを補充してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。
- ❑ バッテリー液の漏れがないか、量が適当かどうかをチェックします。必要に応じて蒸留水を補充してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。
- ❑ エンジンオイルの漏れがないこと、適切な量であることをチェックします。必要に応じてオイルを補充してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。
- ❑ バッテリー液の漏れがないか、量が適当かどうかを確認します。必要に応じて蒸留水を補充してください。「保守」のセクションを参照してください。

以下の部品もしくは部分が損傷していたり、変更されていないか、きちんと設置されていなかったり、なくなっている部品がないかチェックしてください。

- ❑ 電気部品、配線、電気ケーブル
- ❑ 油圧ホース、フィッティング、 シリンダー、マニフォールド
- ❑ 駆動モーター
- ❑ 磨耗板
- ❑ タイヤとホイール
- ❑ リミットスイッチ、角度センサー、アラーム、ホーン
- ❑ ナット、ボルト、他の締め具
- ❑ ブレーキ解除部品
- ❑ 作業台過負荷コンポーネント
- ❑ 安全アーム
- ❑ 作業台延長部
- ❑ シザースピンと固定ファスナー
- ❑ 作業台操作ジョイスティック
- ❑ アウトリガー ハウジングとフットパッド（装備されている場合）
- ❑ 燃料と油圧タンク
- ❑ エンジンと関連部品
- ❑ 作業台出入口ゲート （作業台ガードレールが設置されている場合）
- ❑ 安全帯固定場所
- ❑ 発電機 （搭載している場合）
- ❑ アラームとビーコン（装備されている場合）

機械全体にわたって下記をチェックします。

- ❑ 溶接や機械部品の割れ
- ❑ 機械のへこみと故障
- ❑ 過度のさび、腐敗または酸化

- ❑ 機械を構成している全ての部品が欠けておらず、適合するファスナーやピンが正しい位置にしっかりと締められた状態にあることを確認します。
- ❑ 側面レールが設置され、スナップピンとボルトが締まっていることを確認します（作業台レールが設置されている場合）。

注記：機械を検査するために作業台を上げなければならない場合は、安全アームが所定の位置にあることを確認します。「操作手順」のセクションを参照してください。

# 点検



## 操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 必ず操作前の点検を行う。

**3 使用する前に常に機能テストを行う。**

**次のセクションに進む前に、機能テストについてよく理解してください。**

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

## 機能テストの基本

機能テストは、機械を使用する前に故障を見つけることを目的としています。オペレータは、指示された手順に従ってすべての機能をテストしてください。

故障している機械は決して使用しないでください。故障が見つかった場合は、故障の貼り紙を付けて作業を中止してください。機械の修理は、認定を受けたサービス担当者のみがメーカーの製品仕様に基づいて行ってください。

修理が終了後、オペレータは機械を使用する前に、操作前の点検と機能テストを再度実行してください。

# 点検

## 地上操作の場合

1 テストを行う場所として、障害物がなく、安定した平坦な場所を選びます。

2 作業台と地上にある両方の赤色非常停止ボタンを引いて ON (オン) にします。

3 キースイッチを回して地上操作に切り替えます。

⊙ 結果:LCD 画面が点灯し、システムの準備が整っていることを示すメッセージが表示されます。

注記:寒い状況では、LCD 出力画面が温まって表示が現れるまでに時間がかかります。

4 エンジンを始動させます。「操作手順」のセクションを参照してください。

### 非常停止のテスト

5 赤色非常停止ボタンを押してオフの位置にします。

⊙ 結果:エンジンが止まり、すべての機能が作動しません。

6 地上操作の赤色非常停止ボタンを引いてオンにしてエンジンを再始動します。

### 上昇/下降機能のテスト

この機械の警告音と標準ホーンはすべて同じ中央アラームから発せられます。ホーンは継続音です。下降アラームは毎分 60 回のビープ音を鳴らします。機械が水平でないことを警告するアラームは、毎分 180 回のビープ音を発します。

7 リフト機能作動ボタンを押さないでください。作業台上昇ボタンを押したままの状態にします。



⊙ 結果:作業台は上昇しません。

8 リフト機能作動ボタンを押したままの状態にします。作業台上昇ボタンを押したままの状態にします。

⊙ 結果:作業台が上昇します。

9 リフト機能作動ボタンを押したままの状態にします。作業台下降ボタンを押したままの状態にします。

⊙ 結果:作業台が下降します。作業台が下降しているときには下降アラームが鳴ります。

10 キースイッチを回して作業台操作に切り替えます。

# 点検

## 作業台操作

### 非常停止のテスト

11 作業台の赤色非常停止ボタンを押してオフにします。

⊙ 結果:エンジンが止まり、すべての機能が作動しません。

12 地上操作の赤色非常停止ボタンを引いてオンにしてエンジンを再始動します。

⊙ 結果:緑色の表示ランプが点灯します。



### 警報のテスト

13 ホーンボタンを押します。

⊙ 結果:ホーンが鳴ります。

### 上昇/下降機能と機能作動のテスト

14 エンジンを始動させます。

15 黄色矢印の指示する方向に、上下ロッカースイッチを動かします。

⊙ 結果:作業台は上昇しません。

16 リフト機能作動ボタンを押したままの状態にします。



17 黄色矢印の指示する方向に、上下ロッカースイッチを動かします。

⊙ 結果:作業台が上昇します。

18 リフト機能作動ボタンを押したままの状態にします。

19 青色矢印の指示する方向に、上下ロッカースイッチを動かします。

⊙ 結果:作業台が下降します。作業台が下降しているときには下降アラームが鳴ります。

# 点検

## ステアリングのテスト

注記:ステアリングと走行機能テストを実施する際、作業台上で機械のステアリング側に向かって立ってください。

20 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。

21 コントロールハンドルの上部にあるロッカースイッチを、操作パネルの青い三角の示す方向に押します。

⊙ 結果:ステアリング ホイールが、青色三角形の示す方向に向きます。

22 サムロッカースイッチを、操作パネルの黄色い三角の示す方向に押します。

⊙ 結果:ステアリング ホイールが、黄色三角形の示す方向に向きます。

## 走行とブレーキのテスト

23 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。

24 走行コントロールハンドルを操作パネルの青い矢印の方向に、機械が動き始めるまでゆっくりと動かしたあと、ハンドルを中央位置まで戻します。

⊙ 結果:機械が操作パネルの青い矢印の方向に動き、急停止します。

25 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。

26 コントロール ハンドルを操作パネルの黄色い矢印の方向に機械が動き始めるまでゆっくりと動かしたあと、ハンドルを中央位置まで戻します。

⊙ 結果:機械が操作パネルの黄色い矢印の方向に動き、急停止します。

注記:ブレーキは、機械が登ることのできるすべての斜面上で機械を止める能力を持っている必要があります。

## 走行制限速度のテスト

27 リフト機能作動ボタンを押したままの状態にします。作業台を最低で 6 ft/1.8 m 上昇します。

28 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。

29 コントロール ハンドルをゆっくりとフル走行の位置に動かします。

⊙ 結果:作業台が上昇した状態での最大走行速度は秒速 1.03 ft/31 cm を超えてはいけません。

作業台が上昇した状態での走行速度が秒速 1.03 ft/31 cm を超える場合、直ちに故障中の貼り紙をつけて機械の使用を中止してください。

# 点検

## アウトリガーの展開高さのテスト（GS-5390）

30 リフト機能作動ボタンを押したままにします。作業台を上昇させます。

⊙ 結果：作業台は 35 ft/10.8 m に上昇し、その後、停止します。アウトリガーを下降させない限り、作業台は 35 ft/10.8 m より高く上昇しません。

31 機械を前進させます。

⊙ 結果：走行機能は作動しません。

32 作業台を下げます。作業台が地面から 15 ft/4.6 m より高い場合、アウトリガーは下降しません。

33 自動水平ボタンを押したままの状態にします。




34 上下ロッカースイッチを、下方向に動かします。

⊙ 結果：アウトリガーを延長し、機械を水平にします。機械が水平になると、ビープ音が鳴ります。

35 作業台を上昇させます。

⊙ 結果：作業台は最大の高さまで上昇します。

36 作業台を下げます。

37 自動水平ボタンを押したままの状態にして、アウトリガーを上昇させます。

## 補助電源のテスト

38 リフト機能作動ボタンを押したままの状態で、作業台を約 2 ft/60 cm 上昇させます。

39 赤色非常停止ボタンを押してエンジンを停止させます。

40 赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

41 リフト機能作動ボタンを押したままの状態にします。青色矢印の指示する方向に、上下ロッカースイッチを動かします。

⊙ 結果：作業台が下降します。

## 走行傾斜カットアウトのテスト

注記：このテストは地上から作業台操作で行ってください。作業台には立たないでください。

42 作業台を完全に下げます。

43 シャーシ角度が左右に 2.5°を超える斜面で機械を運転してください。

44 作業台を約 15 ft/4.6 m 上昇させます。

⊙ 結果：作業台が止まり、傾斜アラームが毎分 180 回のビープ音を鳴らします。リフト機能作動ボタンの表示ランプが赤になります。

45 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。

46 コントロール ハンドルを青い矢印の方向に動かした後、黄色い矢印の方向に動かします。

⊙ 結果：走行機能はどちらの方向にも作動しません。

# 点検

47 作業台を完全に下げます。

48 機械を走行します。

⊙ 結果:機械は走行します。

49 機械を水平な地面に戻し、作業台を約 15 ft/4.6 m より高く上昇させます。

50 シャーシ角度が左右に 2.5°を超える斜面で機械を運転してください。

⊙ 結果:機械のシャーシ傾斜の 2.5°に達する前に機械が停止する必要があり、傾斜アラームが毎分 180 回のビープ音で鳴ります。リフト機能作動ボタンの表示ランプが赤になります。

51 作業台を完全に下げます。

52 シャーシの角度が前後に 3.5°以上になるような斜面でマシンを運転してください。

53 作業台を約 15 ft/4.6 m 上昇させます。

⊙ 結果:作業台が止まり、傾斜アラームが毎分 180 回のビープ音を鳴らします。リフト機能作動ボタンの表示ランプが赤になります。

54 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。

55 コントロール ハンドルを青い矢印の方向に動かした後、黄色い矢印の方向に動かします。

⊙ 結果:走行機能はどちらの方向にも作動しません。

56 作業台を完全に下げます。

57 機械を走行します。

⊙ 結果:機械は走行します。

58 機械を水平な地面に戻し、作業台を約 15 ft/4.6 m より高く上昇させます。

59 傾斜角度が前後 3.5°以上の傾斜地で運転してください。

⊙ 結果:作業台が止まり、傾斜アラームが毎分 180 回のビープ音を鳴らします。リフト機能作動ボタンの表示ランプが赤になります。

60 作業台を完全に下げ、水平な地面に戻します。

# 点検



## 操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

**4 作業場を点検する。**

**次のセクションに進む前に、作業場の点検についてよく理解してください。**

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

## 作業場の点検の基本

作業場を点検することによって、オペレータは作業場が安全な機械操作に適しているかどうかを判断することができます。オペレータは、作業場に機械を移動する前に作業場の点検を行わなければなりません。

オペレータは作業場で起こりうる危険を心得た上で、機械の移動、セットアップ、運転の際に注意を払い、危険を回避してください。

## 作業場の点検

次の危険な状態に注意し、これらを回避してください:

- ❑ 急に低くなっているところ、くぼみ
- ❑ でこぼこした道、床の障害物もしくは破片
- ❑ 傾斜面
- ❑ 不安定な地面、滑りやすい地面
- ❑ 頭上の障害物、高圧送電線
- ❑ 危険な場所
- ❑ 機械の重量に耐えられない地面
- ❑ 風や天候の状態
- ❑ 関係作業員以外の人の存在
- ❑ その他、起こりうる危険な状態

# 点検

## 警告用語付きステッカーの点検

適切な点検方法で、ステッカーの文字がすべて読める状態で所定の位置に貼られていることを確認してください。

下記は、番号順に並べられたステッカーの数量と詳細です。

| 品番 | ステッカーの説明 | 数量 |
|---|---|---|
| 28158 | ラベル – 無鉛* | 1 |
| 28159 | ラベル – ディーゼル* | 1 |
| 28160 | ラベル – 液化石油ガス | 1 |
| 28174 | ラベル – 作業台への電力、230V* | 3 |
| 28235 | ラベル – 作業台への電力、115V* | 3 |
| 28236 | 警告 – 不適切な操作 | 1 |
| 31060 | 危険 – 転倒の危険、リミット スイッチ | 1 |
| 31788 | 危険 – 爆発/やけどの危険 | 1 |
| 38149 | ラベル – 特許品* | 1 |
| 43618 | ラベル – 方向矢印 | 1 |
| 43619 | ラベル – 安全アーム | 1 |
| 44736 | 危険 – 転倒の危険、傾斜アラーム | 1 |
| 44981 | ラベル – 作業台への空気管* | 2 |
| 52431 | ラベル – 地上操作パネル | 1 |
| 52475 | ラベル – 輸送用の荷締め | 4 |
| 52494 | 要注意 – 挟まる危険、手摺り | 1 |
| 52865 | 警告 – 1 年毎の点検記録 | 1 |
| 72086 | ラベル – 吊り上げ点 | 4 |
| 72186 | 警告 – 挟まる危険、アウトリガー** | 4 |
| 72818 | ラベル – モードスイッチのテスト | 1 |
| 72853 | 危険 – 誤った使用による危険 | 1 |
| 72868 | ラベル – エンジントレイの支柱 | 1 |
| 82224 | ラベル – 高温、Ford Tier II エンジン | 1 |
| 82366 | ラベル – Chevron Rando | 1 |
| 82557 | ラベル – 作業台操作場所 | 1 |
| 82561 | 危険 – 挟まる危険 | 2 |
| 82757 | 危険 – アウトリガーの安全と指示 | 1 |
| 82793 | 指示 – 操作指示、地上 | 1 |
| 97548 | 指示 – Deutz エンジン仕様 (F3L 2011 & D2011 L03i) Tier II* | 1 |
| 97602 | 警告 – 爆発の危険 | 1 |
| 114169 | 指示 – Ford エンジン仕様(DSG-423)* | 1 |
| 114258 | 危険 – 爆発の危険 | 1 |
| 133278 | ラベル – 低硫黄燃料 (ディーゼルモデル)* | 1 |

次ページへ続く。

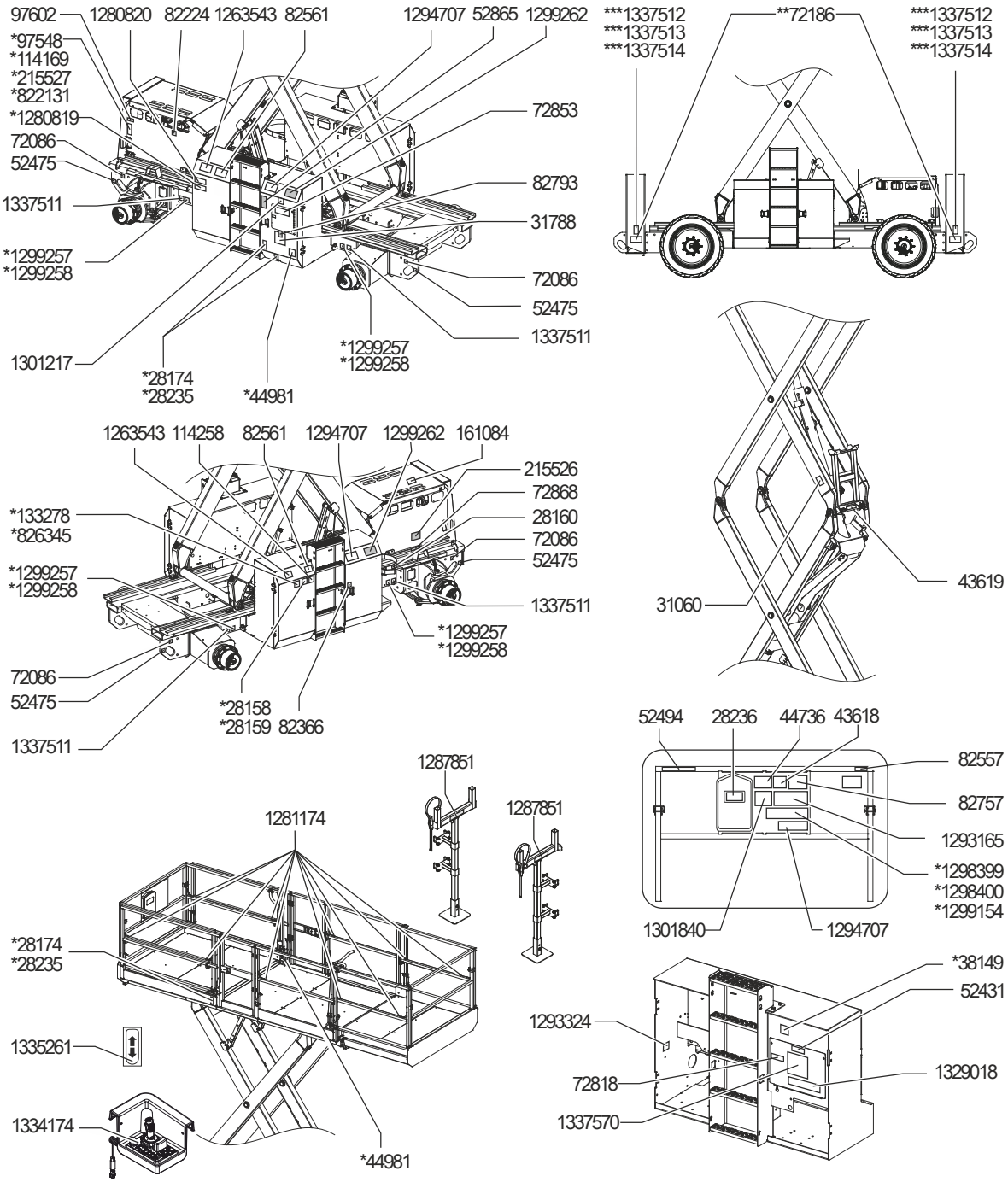
■ 影の部分はステッカーが隠れていて見えないことを示しています (例:カバーの下など) 。

* これらのステッカーはモデル、オプションまたは構成の仕様を示します。

** これらのステッカーはシャーシ両側面に付いています。

*** これらのステッカーはシャーシの両側面に付いており、モデル、オプションまたは構成の仕様を示します。

# 点検


97602
1280820
82224
1263543
82561
1294707
52865
1299262
*97548
*114169
*215527
*822131
*1280819
72086
52475
1337511
*1299257
*1299258
1301217
*28174
*28235
*44981
72853
82793
31788
72086
52475
1337511
*1299257
*1299258
***1337512
***1337513
***1337514
**72186
***1337512
***1337513
***1337514
1263543
114258
82561
1294707
1299262
161084
215526
72868
28160
72086
52475
1337511
*133278
*826345
*1299257
*1299258
72086
52475
1337511
*28158
*28159
82366
*1299257
*1299258
31060
43619
52494
28236
44736
43618
82557
82757
1293165
*1298399
*1298400
*1299154
1301840
1294707
1287851
1281174
1287851
*28174
*28235
1335261
1334174
*44981
*38149
52431
1293324
1329018
72818
1337570

# 点検

## 警告用語付きステッカーの点検

前ページからの続き。

適切な点検方法で、ステッカーの文字がすべて読める状態で所定の位置に貼られていることを確認してください。

下記は、番号順に並べられたステッカーの数量と詳細です。

| 品番 | ステッカーの説明 | 数量 |
|---|---|---|
| 161084 | ラベル – Deutz、ROW | 1 |
| 215526 | ラベル ー ベルトルーティング（MSG-425) | 1 |
| 215527 | 指示 ー Ford エンジン仕様（MSG-425)* | 1 |
| 822131 | 指示 – Deutz エンジン仕様（D2.9 L4)* | 1 |
| 826345 | ラベル ー 超低硫黄燃料のみ（ディーゼルモデル)* | 1 |
| 1263543 | 警告 ー コンパートメントへのアクセス | 2 |
| 1280819 | ラベル ー 警告、がんと生殖害、Prop 65* | 1 |
| 1280820 | ラベル ー 燃料、ディーゼル排気、Prop 65 | 1 |
| 1281174 | ラベル – 安全帯固定箇所、転倒阻止/転倒防止 | 10 |
| 1287851 | 危険 ー 最大許容量、マテリアルキャリア | 2 |
| 1293165 | 危険 ー 転倒の危険、挟まる危険 | 1 |
| 1293324 | ラベル – ICES-2/CAN-2 規制 | 1 |
| 1294707 | 危険 ー 感電の危険 | 3 |
| 1298399 | 注意 – 最大許容量/側方圧力、GS-3384、GS-3390* | 1 |
| 1298400 | 注意 – 最大許容量/側方圧力、GS-4390* | 1 |
| 1299154 | 注意 – 最大許容量/側方圧力、GS-5390* | 1 |
| 1299257 | 危険 ー 転倒の危険、タイヤ仕様 (GS-90)* | 4 |
| 1299258 | 危険 ー 転倒の危険、タイヤ仕様 (GS-90)* | 4 |
| 1299262 | ラベル – 輸送およびリフト手順 | 2 |
| 1301217 | ラベル ー 緊急下降 | 1 |
| 1301840 | ラベル ー 転倒の危険、プラットホーム | 1 |
| 1329018 | 地上操作パネル | 1 |
| 1334174 | 作業台操作パネル | 1 |
| 1335261 | 矢印、作業台操作 | 1 |
| 1337570 | 地上操作パネル | 1 |
| 1337511 | ラベル ー 輪荷重、GS-90 | 4 |
| 1337512 | ラベル ー アウトリガー負荷、GS-3390*** | 4 |
| 1337513 | ラベル ー アウトリガー負荷、GS-4390*** | 4 |
| 1337514 | ラベル ー アウトリガー負荷、GS-5390*** | 4 |

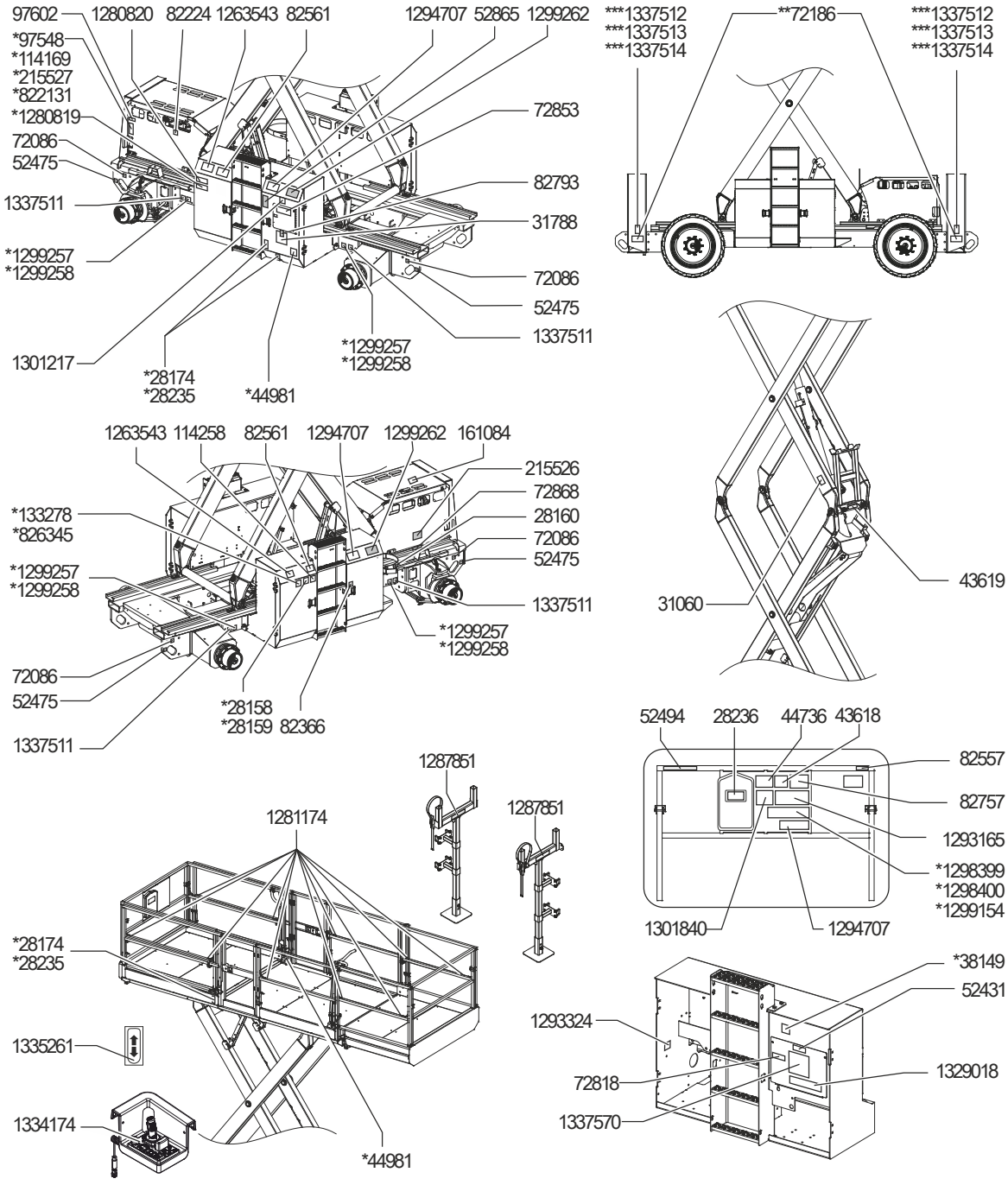
■ 影の部分はステッカーが隠れていて見えないことを示しています (例:カバーの下など) 。

* これらのステッカーはモデル、オプションまたは構成の仕様を示します。

** これらのステッカーはシャーシ両側面に付いています。

*** これらのステッカーはシャーシの両側面に付いており、モデル、オプションまたは構成の仕様を示します。

# 点検


97602
1280820
82224
1263543
82561
1294707
52865
1299262
*97548
*114169
*215527
*822131
*1280819
72086
52475
1337511
*1299257
*1299258
1301217
*28174
*28235
*44981
72853
82793
31788
72086
52475
1337511
*1299257
*1299258
***1337512
***1337513
***1337514
**72186
***1337512
***1337513
***1337514
1263543
114258
82561
1294707
1299262
161084
215526
72868
28160
72086
52475
1337511
*1299257
*1299258
*133278
*826345
*1299257
*1299258
72086
52475
1337511
*28158
*28159
82366
31060
43619
52494
28236
44736
43618
82557
82757
1293165
*1298399
*1298400
*1299154
1301840
1294707
1287851
1281174
1287851
*28174
*28235
1335261
1334174
*44981
*38149
52431
1293324
72818
1337570
1329018

# 点検

## シンボル付きステッカーの点検

適切な点検方法で、ステッカーの文字がすべて読める状態で所定の位置に貼られていることを確認してください。

下記は、番号順に並べられたステッカーの数量と詳細です。

| 品番 | ステッカーの説明 | 数量 |
|---|---|---|
| 28158 | ラベル – 無鉛* | 1 |
| 28159 | ラベル – ディーゼル* | 1 |
| 28160 | ラベル – 液化石油ガス（追加の LPG タンクオプションに 1 枚追加） | 1 |
| 28174 | ラベル – 作業台への電力、230V* | 3 |
| 28235 | ラベル – 作業台への電力、115V* | 3 |
| 43618 | ラベル – 方向矢印 | 1 |
| 44981 | ラベル – 作業台への空気管* | 2 |
| 52475 | ラベル – 輸送用の荷締め | 4 |
| 72086 | ラベル – 吊り上げ点 | 4 |
| 72868 | ラベル – エンジントレイの支柱 | 1 |
| 82474 | ラベル – 安全輪止め使用 | 2 |
| 82475 | ラベル – 挟まる危険、アウトリガー** | 4 |
| 82481 | ラベル – バッテリー/充電器の安全 | 1 |
| 82487 | ラベル – マニュアルを読む | 2 |
| 82560 | ラベル – 皮膚への噴射の危険 | 1 |
| 82812 | ラベル – サービスマニュアルを読む | 1 |
| 97709 | ラベル – 高温 | 2 |
| 97719 | ラベル – 安全アーム | 1 |
| 114251 | ラベル – 爆発の危険 | 1 |
| 114337 | ラベル – 転倒の危険、リミットスイッチ | 1 |
| 114338 | ラベル – 転倒の危険、傾斜アラーム | 1 |
| 114371 | ラベル – アウトリガーの安全 | 1 |
| 133537 | ラベル – 挟まる危険 | 1 |
| 215526 | ラベル – ベルトルーティング（MSG-425) | 1 |
| 1263542 | ラベル – コンパートメントへのアクセス | 2 |
| 1272242 | ラベル – 機械の登録 | 1 |
| 1281174 | ラベル – 安全帯固定箇所、転倒阻止/転倒防止 | 10 |
| 1293166 | 危険、警告 – 転倒、挟まる危険 | 1 |
| 1293217 | ラベル – 危険、感電の危険 | 3 |
| 1294688 | ラベル – 作業台過負荷 LED 表示器ランプ | 1 |
| 1299262 | ラベル – 輸送およびリフト手順 | 2 |
| 1299288 | ラベル – 最大許容量/側方圧力、GS-3384、GS-3390* | 1 |
| 1299289 | ラベル – 最大許容量/側方圧力、GS-4390* | 1 |
| 1299290 | 危険 – 最大許容量/側方圧力、GS-5390* | 1 |
| 1299364 | ラベル – Scon ソフトウェア SC050、RT 負荷制御 | 1 |
| 1301217 | ラベル – 緊急下降 | 1 |
| 1329018 | 地上操作パネル | 1 |
| 1334174 | 作業台操作パネル | 1 |
| 1335261 | 矢印、作業台操作 | 1 |
| 1337570 | 地上操作パネル | 1 |
| 1337511 | ラベル – 輪荷重、GS-90 | 4 |
| 1337512 | ラベル – アウトリガー負荷、GS-3390*** | 4 |
| 1337513 | ラベル – アウトリガー負荷、GS-4390*** | 4 |
| 1337514 | ラベル – アウトリガー負荷、GS-5390*** | 4 |

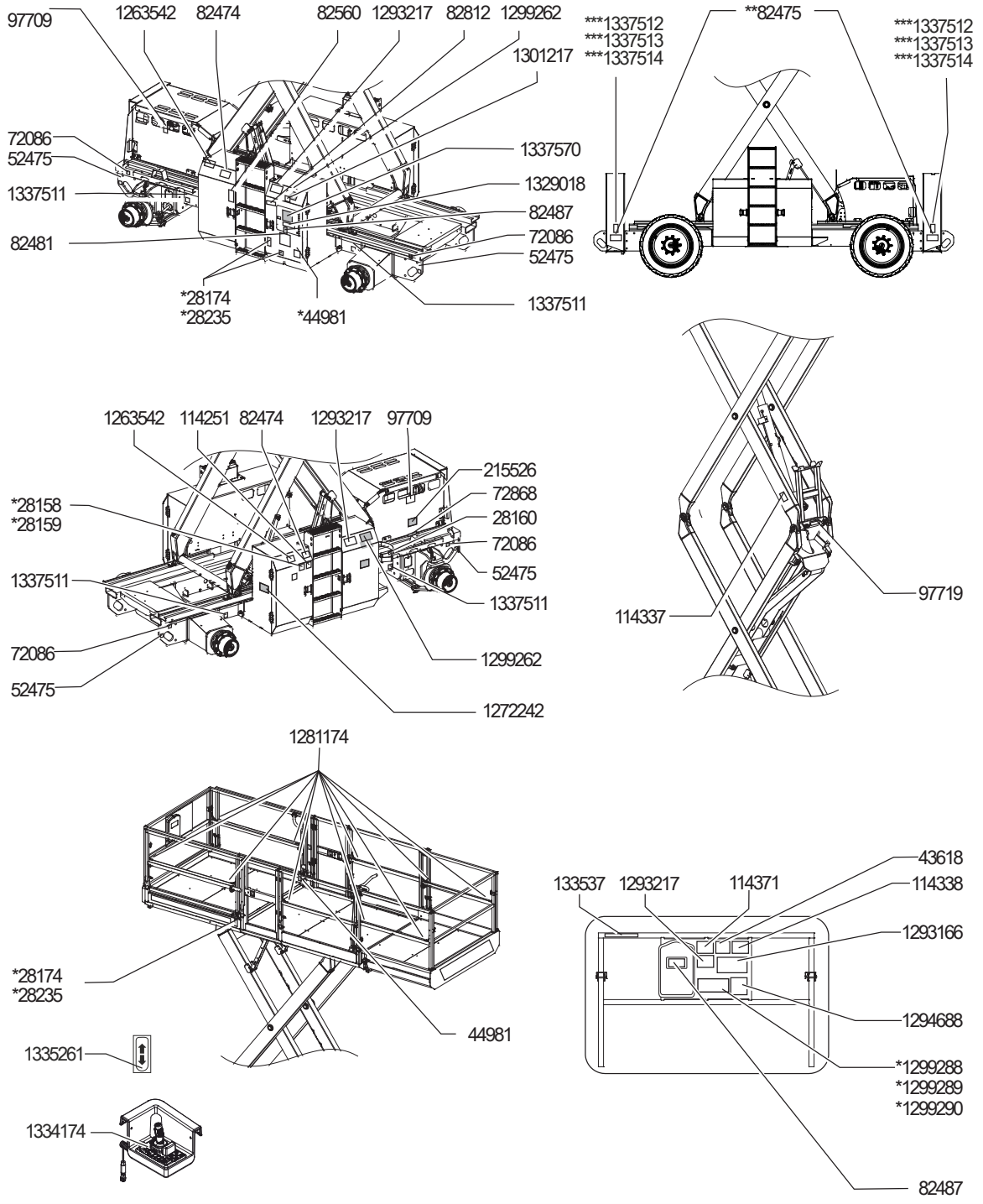
■ 影の部分はステッカーが隠れていて見えないことを示しています (例:カバーの下など) 。

* これらのステッカーはモデル、オプションまたは構成の仕様を示します。

** これらのステッカーはシャーシ両側面に付いています。

*** これらのステッカーはシャーシの両側面に付いており、モデル、オプションまたは構成の仕様を示します。

# 点検


97709
1263542
82474
82560
1293217
82812
1299262
1301217
72086
52475
1337511
82481
1337570
1329018
82487
72086
52475
*28174
*28235
*44981
1337511
***1337512
***1337513
***1337514
**82475
***1337512
***1337513
***1337514
1263542
114251
82474
1293217
97709
215526
72868
28160
72086
52475
1337511
*28158
*28159
1337511
72086
52475
1299262
1272242
114337
97719
1281174
*28174
*28235
44981
1335261
1334174
133537
1293217
114371
43618
114338
1293166
1294688
*1299288
*1299289
*1299290
82487

# 操作手順



## 操作を行う必須条件は、以下のとおりです。

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施してください。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 必ず操作前の点検を行う。

3 使用する前に必ず機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

**5 決められた用途にのみ機械を使用する。**

## 原則

操作手順のセクションでは、機械操作の手順を機能ごとに説明しています。安全規則やオペレータの安全および責務マニュアルの手順に従うことは、オペレータの任務です。

作業員を工具や機材と一緒に高所作業場まで上げる目的以外で、機械を使用することは危険です。

トレーニングを受け認定された担当者のみが、機械を操作することを許可されます。複数のオペレータが同じ勤務時間内で異なる時間帯に機械を使用する場合、すべてのオペレータが資格を有し、オペレータの安全および責任に関するマニュアルの安全規則と手順にすべて従わなければなりません。すなわち、オペレータが交替するたびに、次のオペレータが機械の操作前に、操作前点検、機能テスト、作業場点検を行う必要があります。

# 操作手順

## 非常停止

地上もしくは作業台操作の赤色非常停止ボタンを押してオフにし、すべての機能を停止してエンジンを切ります。

赤色非常停止ボタンが押されている状態で作動する機能は修理する必要があります。

## エンジンの始動

1 地上操作で、キースイッチを目的の位置まで回します。

2 地上操作と作業台操作の両方の赤色非常停止ボタンが引かれ、オンの位置にあることを確認します。

### ガソリン/LPG モデル

1 LPG ボタンを押して、LPG を選択します。

2 エンジン始動ボタンを押します。

注記:20°F/-6°C 以下の低温の状況では、機械をまずガソリンで始動し、2 分間暖めてから、LPG に切り替える必要があります。温まったエンジンは LPG で始動することができます。

### ディーゼルモデル

1 エンジン始動ボタンを押します。

注記:50°F/10°C 以下の温度の低い条件下では、エンジン始動の前にグロープラグボタンを 5 秒から 10 秒ほど押し続けてください。グロープラグボタンの連続使用は 20 秒以内にしてください。

### すべてのモデル

15 秒間のクランク後エンジンが始動しない場合、故障の原因を判別して修理してください。60 秒間待ってから、再度始動を試みてください。

20°F/-6°C 以下の寒い状況では、油圧システムの損傷を避けるため、操作の前に 5 分間エンジンを温めてください。

0°F/-18°C 以下の極寒の状況では、オプションの低温スタートキットを機械に搭載する必要があります。気温 0°F/-18°C 以下の環境でエンジンを始動する場合、ブースターバッテリーが必要な場合があります。

## 地上からの操作

1 キースイッチを回して地上操作に切り替えます。

2 地上操作と作業台操作の両方の赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

3 エンジンを始動させます。

### 作業台を配置する



1 リフト機能作動ボタンを押したままにします。

注:機能有効化スイッチ(ボタンまたはフットスイッチ)を有効化した後、事前に設定された時間内に機能制御が実行されない場合、機能有効化スイッチは自動的に無効化されます。この場合、オペレーターは機能有効化スイッチを解除して、再試行する必要があります。

2 上昇機能または下降機能を作動させます。

走行とステアリング機能は地上操作から操作できません。

# 操作手順

### エンジン アイドリング選択

アイドリング選択ボタンを押して、エンジンアイドリング速度（rpm）を選択します。エンジンのアイドリングには次の 3 つの設定があります。



- 表示器ランプ消灯：低アイドリング
- 表示器ランプの点滅：いずれかの機能作動ボタンにより高アイドリングが作動
- 表示器ランプ点灯：高アイドリング

## 作業台からの操作

1 キースイッチを回して作業台操作に切り替えます。

2 地上操作と作業台操作の両方の赤色非常停止ボタンを引いてオンにします。

3 エンジンを始動させます。

### 作業台を配置する



1 リフト機能作動ボタンを押したままにします。

注：機能有効化スイッチ（ ボタンまたはフットスイッチ）を有効化した後、事前に設定された時間内に機能制御が実行されない場合、機能有効化スイッチは自動的に無効化されます。この場合、オペレーターは機能有効化スイッチを解除して、再試行する必要があります。

2 上下ロッカースイッチを、好みの方向に動かします。

### ステアリング

1 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。

2 ステアリング ホイールをコントロール ハンドルの先端にあるサムロッカースイッチで回します。

### 走行

1 コントロール ハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。

2 速度を上げるには、次の操作を行います。コントロール ハンドルを中心の位置からゆっくりと動かします。

速度を下げるには、次の操作を行います。コントロール ハンドルを中心の位置に向かってゆっくりと動かします。

停止するには、次の操作を行います。コントロール ハンドルを中心に戻すか、または、機能作動スイッチを離します。

作業台操作と走行シャーシの色別された方向矢印で、機械の進む方向を確認してください。

作業台が上昇した状態では走行スピードが制限されています。

### 走行セレクトボタン



傾斜面上の機械シンボル：傾斜用のローレンジ運転。

### 赤表示ランプ点灯



エラー表示ランプがついている時は、赤色非常停止ボタンを押して、次に引いて、システムをリセットしてください。

赤色ランプがついたままの状態の場合は、故障中の貼り紙をつけて機械の使用を中止してください。

# 操作手順

### 表示ライトが赤く点滅している場合:



表示ライトが赤く点滅している場合、作業台が過負荷になっており、全ての機能が動作しなくなります。作業台操作でアラームが鳴ります。

作業台から重りを取り除きます。

赤色の非常停止ボタンを押し込み、次に引き出して、システムをリセットします。

作業台がまだ過負荷の場合、ライトは点滅し続けます。

### ⚠ 傾斜面における走行

機械に対する縦傾斜および横傾斜の定格勾配を確認し、傾斜勾配を判断します。

| | | | |
|---|---|---|---|
| **最大定格勾配、収納状態:** | | | |
|  | GS-3390、GS-4390 | 50% | 26° |
| | GS-5390 | 40% | 22° |
| **最大定格横勾配、収納状態:** | | | |
|  | GS-3390、GS-4390 | 50% | 26° |
| | GS-5390 | 40% | 22° |

注記:定格勾配は、1 名の作業員が作業台にいる場合と車輪と地面との摩擦の状態により異なります。作業台への追加の重量は定格勾配を低減する場合があります。

### 傾斜勾配の確認

デジタル傾斜計を使用するか、あるいは以下の手順で傾斜を測定します。

必要なものは以下のとおりです。

- 水準器
- 最低 1 m の長さの真っ直ぐな木片
- 巻尺

傾斜面の上に木片を置きます。

下り傾斜の一番下で、木片の上端に水準器を置いた後、木片が水平になるまでその端を持ち上げます。

木片を水平に保ちながら、木片の端の底部から地面までの距離を測ります。

巻尺で測った地面からの距離（高さ）を木片の長さ (水平距離) で割り、その数値に 100 を掛けます。

例:




木片 ＝ 3.6 m

水平距離 ＝ 3.6 m

高さ ＝ 0.3 m

0.3 m ÷ 3.6 m = 0.083 × 0.083 x 100 = 8.3% 勾配

上りもしくは下り傾斜や横傾斜が最大定格勾配を超える場合は、機械をウィンチで巻き揚げるか、もしくは傾斜のない場所に運ぶ必要があります。「輸送およびリフト」のセクションを参照してください。

# 操作手順

## 作業台の延長と収納

1 作業台の延長ロックハンドルを水平な位置になるまで持ち上げます。

2 作業台の延長ロックハンドルを押し、作業台を目的の位置まで延長します。

作業台を延長している時は、作業台の延長部分に立たないでください。

3 作業台延長部ロックハンドルを下げます。

## 補助電源

### 地上操作の場合



リフト機能作動ボタンを押したままの状態にし、下降機能を作動させます。

停電の場合は、補助電源機能を使用してください。

### 作業台操作

リフト機能作動ボタンを押したままで、上下ロックスイッチを下の方向に動かします。

## 傾斜センサー作動設定

| 傾斜センサー作動設定 | |
|---|---|
| **車輪のシャーシ角度** | |
| シャーシ角度（片側からもう一方側） | 2° |
| シャーシ角度（前方から後方） | 3° |
| **アウトリガーのシャーシ角度** | |
| シャーシ角度（片側からもう一方側） | 0.8° |
| シャーシ角度（前方から後方） | 3° |

傾斜表示ランプが点灯し、傾斜アラームが鳴る場合、走行、リフト機能が無効になり、作動しなくなります。



下限の高さ以下に機械を下げて、駆動部とリフトの機能を回復させます。



# 操作手順

## コントローラを使った地上からの操作

オペレータ、機械、固定された物体の間に安全な距離を保ってください。

コントローラを使う際、機械が走行する方向に注意してください。

## アウトリガー操作（装備されている場合）

1 作業場の下に機械を置きます。

注記：アウトリガーが動作するには、エンジンが動いていなければなりません。

2 自動水平ボタンを押したままの状態にします。




3 上下ロッカースイッチを、下方向に動かします。アウトリガーが伸張して、機械を水平にします。機械が水平になると、ビープ音が鳴ります。



リフト機能作動ボタンの表示ランプは、1つの（すべてのアウトリガーではなく）アウトリガーが下りていると、赤色に点灯します。すべての走行およびリフト機能は無効化されています。

すべてのアウトリガーが地面としっかりと接触すると、リフト機能動作ボタンと個々のアウトリガーボタンのランプが緑色に点灯します。

アウトリガーが下がっている状態のときは走行機能は無効化されます。

### 各アウトリガーの操作

1 1 つまたはそれ以上のアウトリガーボタンを押し続けます。

2 アウトリガー上昇/下降ロックスイッチを希望の方向に作動し、機械を水平にします。

# 操作手順

## リフトツール・マテリアルキャリアの説明書

### マテリアルキャリアの安全

マテリアルキャリアに付属のすべての警告と指示を読み、理解し、それに従ってください。

定格作業台積載荷重量を超えないでください。マテリアルキャリアの組立重量により定格作業台積載荷重量が減少するため、作業台の総積載荷重からマテリアルキャリアの組立重量を差し引く必要があります。

マテリアルキャリアの組立重量は 80 lbs/36 kg です。

マテリアルキャリアがしっかりと取り付けられていることを確認してください。

マテリアルキャリア組立が取り付けられている場合、本説明書は機械の一部と見なされ、必ず機械と一緒に置かれていなければなりません。

## リフトツール・マテリアルキャリアの操作

1 マテリアルキャリアの組み立ておよび取り付け手順に適切に従っていること、またマテリアルキャリアが作業台の手摺りにしっかりと固定されていることを確認します。

2 積荷を両方のマテリアルキャリアに載るように置きます。積荷の長さが作業台と平行になるようにします。

3 積荷をマテリアルキャリアの中心に置きます。

**⚠ 警告** 転倒の危険。積荷の中心は、作業台のメインデッキの外周内にある必要があります。

4 積荷をそれぞれのマテリアルキャリアに固定します。ナイロンストラップを積荷の上にかけます。フックをマテリアルキャリアに接続します。ラチェットストラップを締めます。

5 積荷をゆっくり押したり引いたりして、マテリアルキャリアと積荷が固定されていることを確認します。

# 操作手順

6 機械が動いているときは、積荷をしっかりと固定してください。

**⚠ 警告**

転倒の危険。マテリアルキャリアの組立重量とマテリアルキャリア内の積荷の重量は、機械の定格作業台積載荷重量が減少するため、作業台の総積載荷重を考慮する必要があります。

**⚠ 警告**

転倒の危険。マテリアルキャリア組立重量とマテリアルキャリアの積荷の重量によって、作業台の最大作業員数が制限される可能性があります。

**注意**

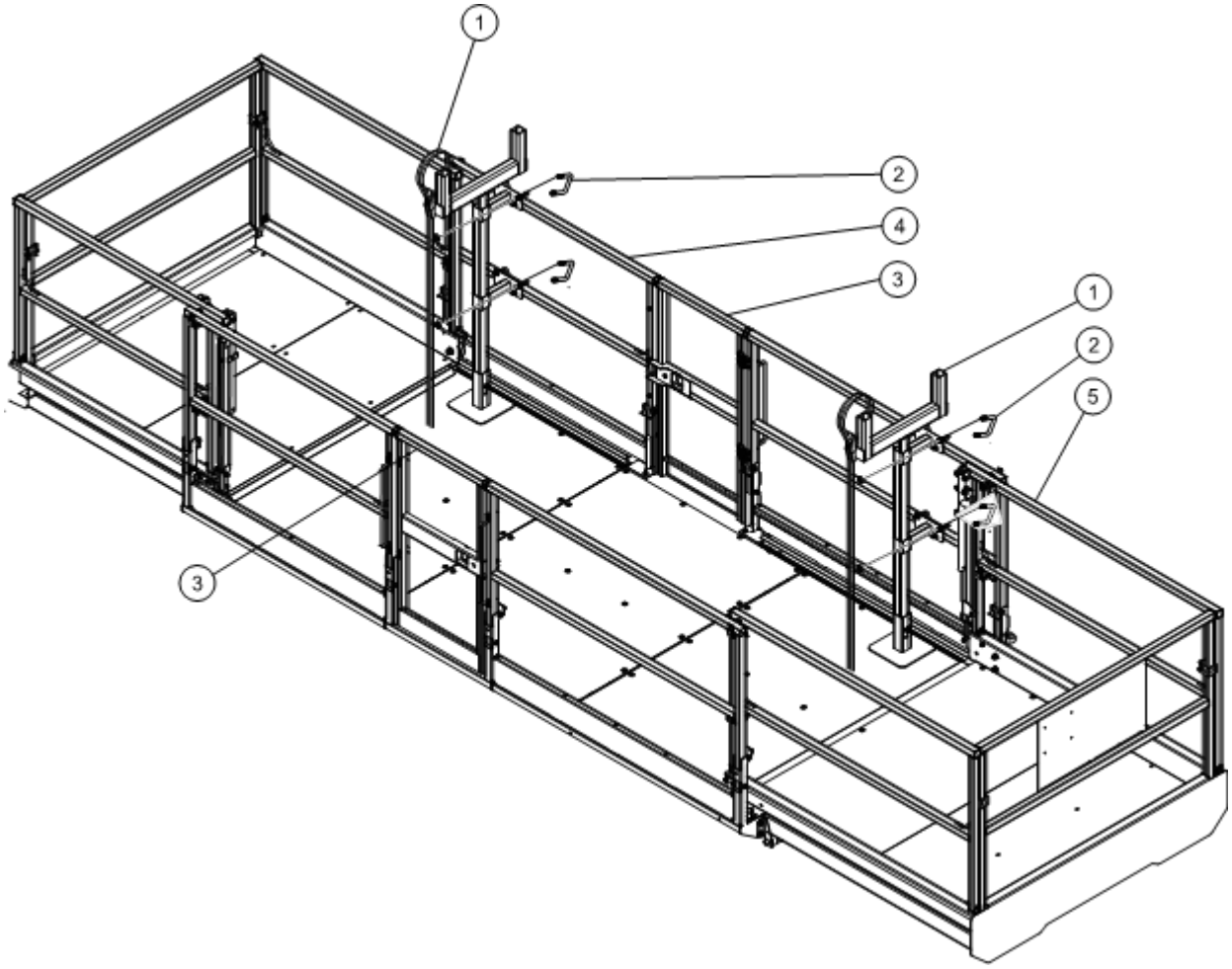
部品の損傷の危険。機械を使用して荷物を所定の位置に配置しないでください。

| | |
|---|---|
| **マテリアルキャリア組立重量** | 80 lbs<br>36 kg |

| モデル | 最大マテリアルキャリア許容量 | 最大マテリアル・セイルエリア（h × w） | 最大作業員数 |
|---|---|---|---|
| **GS-3390** | 700 lbs<br>317 kg | 310 in × 7 in<br>787.4 cm × 17.8 cm | 3 |
| **GS-4390** | 700 lbs<br>317 kg | 310 in × 7 in<br>787.4 cm × 17.8 cm | 3 |
| **GS-5390** | 700 lbs<br>317 kg | 310 in × 7 in<br>787.4 cm × 17.8 cm | 2 |

# 操作手順

## （デッキ延長時）




1 マテリアルキャリア
2 U ボルトとナイロックフランジナット
3 スイングゲート
4 メインデッキ
5 延長デッキ

# 操作手順

## 使用後の注意

1 固い水平な地面で、障害物や人や車の往来のない、安全な駐車場所を選んでください。

2 作業台を下降します。

3 キースイッチをオフの位置に回し、関係者以外による使用を避けるためキーを取り外します。

## 機械の収納

長期保管のための準備と収納を適切に行うことで、機械を再び使用することが容易になります。

1 基本的な機械の収納方法については、「使用後の注意」のセクションを参照してください。

2 この機会は、乾燥した風通しのよい場所に保管してください。機械がきれいで、乾燥していることを確認してください。

3 動作前点検を完全に実施します。

エンジン搭載モデル：燃料タンクを満タンにします。

4 該当するサービスマニュアルの「定期保守点検」のセクションを参照し、各潤滑手順を完了させてください。

5 バッテリーを取り外して保管します。

6 エンジン搭載モデル：その他の長期保管の手順については，OEM エンジンのマニュアルを参照してください。必要に応じて、エンジンを始動して 10 分間作動させます。

# 輸送および持ち上げの手順

## 必ず以下に従うこと。

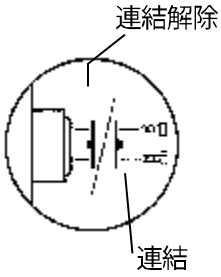
- ☑ Genie は、以下の装置の輸送および設置に関する情報を 1 つの提案として提示します。操縦者は、米国運輸省の規定、地域のその他の規定および自社の方針に従って、機械を正しく固定し、正しいトレーラーを選択することに関して、すべての責任を負っています。
- ☑ Genie の顧客が任意のリフトまたは Genie 製品をコンテナに収める必要がある場合には、建設用機器およびリフトを国際輸送用に準備、積載、固定する作業の専門知識を持つ、認定された運送会社に依頼してください。
- ☑ 機械のトラックからの積み下ろしは、認定を受けた可動式上昇作業台の作業員のみが行ってください。
- ☑ 輸送車両は水平な地面に駐車してください。
- ☑ 機械を載せる際は、輸送車両を動かないように固定してください。
- ☑ 車両の積載荷重量、積載面、チェーンやストラップが、機械の重量に十分に耐えうるものであることを確認してください。Genie リフトはそのサイズと比べるとかなりの重量があります。機械の重量についてはシリアルラベルをご覧ください。
- ☑ 輸送車両の荷台の傾斜が最大定格勾配を越える場合、機械の積み下ろしの際には「ブレーキ解除操作」の指示どおりにウィンチを使用する必要があります。

## ウィンチ用のフリーホイール設定

機械が動かないよう輪止めをかましてください。

2WD モデル: 走行ハブ取外しキャップを裏返して、非操舵輪のブレーキを解除します。

4WD モデル: すべての 4 つのトルクハブ取外しキャップを回して、ホイールブレーキを解除します。




シャーシの荷締め箇所にウィンチラインがしっかりと固定され、軌道に障害物が無いことを確認します。

再びブレーキをかけるには逆の手順を行ってください。

注記:ポンプのフリーホイール弁は、通常運転中は常に閉じていなければなりません。

# 輸送および持ち上げの手順

## 輸送用トラックあるいはトレーラーへの固定

輸送する場合は必ず前もって機械に輪止めをかましてください。

延長部デッキを収縮し、固定します。

シャーシの荷締め箇所を使って輸送車両へ固定してください。

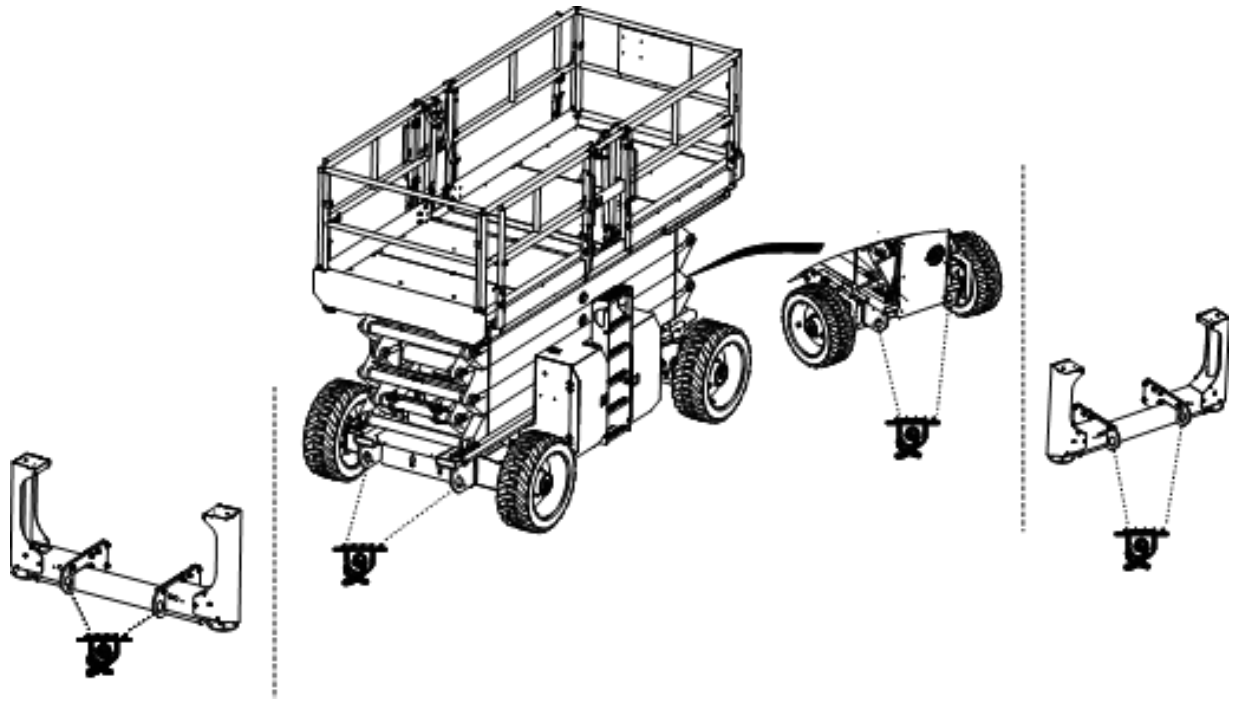
最低でも 4 組のチェーンまたはストラップを使用してください。

チェーンやストラップは、積載荷重量に十分耐えうるものを使用してください。

輸送の前にキースイッチをオフの位置に回し、キーを取り外してください。

緩んでいたり、固定されていない箇所がないか、機械全体を点検します。

手摺りが下方に曲がっている場合は、輸送前にストラップで固定します。



# 輸送および持ち上げの手順

## 必ず以下に従うこと。

☑ 機械の組み立ておよび持ち上げを行うときは、必ず認定されている整備工が行ってください。

☑ クレーンの積載荷重量、積載面、ストラップやロープが、機械の重量に十分に耐えうることを確認してください。機械の重量についてはシリアルラベルをご覧ください。

## 持ち上げの手順

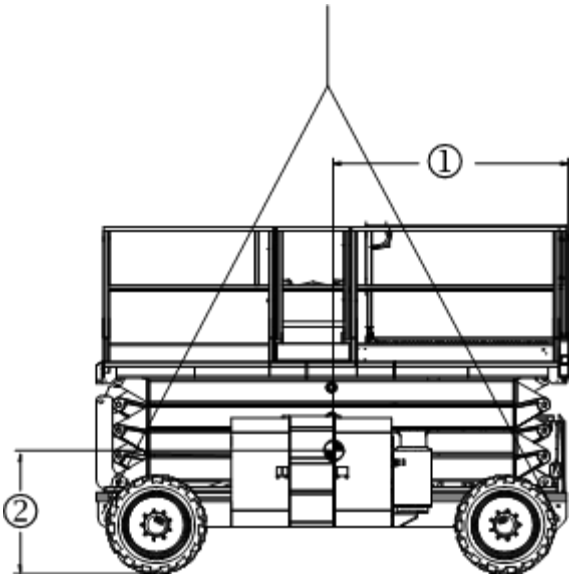
作業台を完全に下げます。延長デッキ、操作パネルおよび部品トレイが固定されていることを確認してください。機械の緩んでいる箇所はすべて取り外してください。

このページの表と図を参考にして、機械の重心を確認してください。

機械の指定の吊り上げ点にのみ装具を取り付けます。

機械が損傷しないよう、また、機械の水平状態を保てるよう、装具を調節してください。

| 重心 | X 軸 | Y 軸 |
|---|---|---|
| **GS-3390**<br>アウトリガーなし | 74.7 in<br>189.7 cm | 38.2 in<br>97.0 cm |
| **GS-4390**<br>アウトリガーなし | 74.7 in<br>189.7 cm | 42.1 in<br>106.9 cm |
| **GS-3390**<br>アウトリガーあり | 75.1 in<br>190.8 cm | 37.2 in<br>94.5 cm |
| **GS-4390**<br>アウトリガーあり | 75.1 in<br>190.8 cm | 39.8 in<br>101.1 cm |
| **GS-5390** | 76.0 in<br>193 cm | 42.7 in<br>108.5 cm |




1 X 軸

2 Y 軸

# メンテナンス



## 必ず以下に従うこと。

☑ オペレータは、本説明書に記載してある規定メンテナンス項目のみを行います。

☑ 定期保守点検は、認定されているサービス担当者が、製品仕様と責務マニュアルに記載している要項に基づいて行ってください。

☑ 法規に従って、適切に廃棄してください。

☑ Genie 承認の交換部品のみを使用してください。

## メンテナンス記号の説明

以下の記号は、指示の目的をわかりやすくするために使用されています。メンテナンス手順の最初に記載されている記号は、次のような意味を表しています。



この手順を行うために、工具が必要です。



この手順を行うために、新たな部品が必要です。



この手順を行う場合には、エンジンが冷えた状態になっていなければなりません。

## バッテリーの点検



バッテリーを適切な状態に保つことは、機械の性能を保ち、安全に操作するために重要です。不適切な液量、あるいはケーブルや接続の損傷は、部品の故障につながり、危険な状態を招くおそれがあります。

⚠ 感電の危険。熱くなっている回路や通電している回路に触れると、重傷を負ったり死に至ることがあります。指輪、時計などの装身具をすべて外してください。

⚠ 人体への傷害の危険。バッテリーには酸が入っています。バッテリーの酸をこぼしたり酸に触れたりしないようにしてください。バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水を使って中和してください。

注記：このテストはバッテリーを完全に充電した後に行ってください。

1 保護服と保護メガネを着用してください。

2 バッテリーケーブルがしっかりと接続され、腐食していないことを確認します。

3 バッテリー固定ブラケットが適切な位置にしっかりと取り付けられているか確認します。

注記：端子プロテクターや腐食防止シーリング剤を使用することによって、バッテリー端子やケーブルの腐食を防止することができます。

# メンテナンス

## エンジンオイル量を点検

エンジンを高性能に保ち、耐用年数を長く保つために、エンジンオイルの量を適切にしておくことはきわめて重要です。オイル量が不適切な状態で機械を操作すると、エンジンの部品が損傷するおそれがあります。

注記:オイル量のチェックはエンジンを止めた状態で行ってください。

1 オイル計量棒をチェックします。必要に応じてオイルを補充してください。

| | |
|---|---|
| **Deutz D2.9 L4 エンジン** | |
| オイルタイプ | 15W-40 |
| オイルタイプ ― 低温での状況 | 5W-40 |
| **Deutz DL2011 L03i エンジン** | |
| オイルタイプ | 15W-40 |
| オイルタイプ ― 低温での状況 | 5W-40 |
| **Deutz TD 2.2 49 HP エンジン** | |
| オイルタイプ | 15W-40 |
| オイルタイプ ― 低温での状況 | 5W-40 |
| **Ford MSG-425 EFI エンジン** | |
| オイルタイプ | 5W-20 |

## ディーゼル燃料要件

エンジンの性能は、使用する燃料の品質によって影響を受けます。高品質の燃料を使用すると、エンジンの寿命が長くなり、排出ガスの放出レベルが許容範囲内になるという利点があります。

各エンジンに対応する最低ディーゼル燃料要件は以下に一覧にしています。

| | |
|---|---|
| **Deutz D2011 L03i エンジン** | |
| 燃料タイプ | 低硫黄燃料(LSD) |
| **Deutz D2.9 L4 エンジン** | |
| 燃料タイプ | 超低硫黄燃料(ULSD) |

# メンテナンス

## 作動油量の点検

作動油量を適切なレベルにしておくことは、機械操作にとって非常に重要です。作動油量が適切でない場合、油圧部品が損傷することがあります。点検担当者は、毎日チェックすることにより、作動油量の変化に気付き、油圧システムでの問題を早期に発見することができます。

1 作業台が収納され、エンジンが停止していることを確認してください。

2 油圧タンク側面にある表示計を目視点検します。

⊙ 結果:作動油の量は表示計の上から 2 インチ/5 cm 以内にしなければいけません。

3 必要に応じてオイルを補充してください。このときに入れすぎないようにしてください。

| 作動油の仕様 | |
|---|---|
| 作動油タイプ | Chevron Rando HD 相当物 |

## エンジン冷却液量の点検 ー 液冷モデル

エンジン冷却液の量を適切なレベルにしておくことはエンジンを長持ちさせるのに非常に重要です。冷却液の量が不適切な場合、エンジンの冷却能力に影響し、エンジンの部品が損傷するおそれがあります。点検担当者は冷却液の量を毎日チェックすることにより、冷却液の量の変化で、冷却システムでの問題を早期に見つけることができます。

1 冷却液回収タンク内の液量をチェックします。必要に応じて液を足してください。

⊙ 結果:液の量はラジエーターの上部タンクで見える必要があります。

⚠ やけどの危険。エンジンおよび/またはラジエーターが温かい場合は、ラジエーターのキャップを外さないでください。冷却液量の点検を実施する前に、エンジンおよびラジエーターは手を触れられるくらい冷たくなっている必要があります。

# メンテナンス

## 定期保守点検

四半期ごと、1 年ごと、2 年ごとに行われる保守点検は、本機械の保守トレーニングを受け認定されている担当者が本機械のサービスマニュアルの手順に従って行わなければなりません。

3 ヶ月以上使用されていない機械は、再び使用する前に必ず四半期点検を行う必要があります。

機械の耐用年数を終えた際には、廃棄や廃車に関する地域や政府の規制をすべて遵守してください。詳細については、該当する Genie サービスマニュアルを参照してください。

# 仕様

| GS-3390 | | |
|---|---|---|
| 高さ、操作時最大 | 39 ft | 11.9 m |
| 高さ、作業台最大 | 33 ft | 10.1 m |
| 高さ、収納時最大、手摺りを 上げた状態 | 106.5 in | 271 cm |
| 高さ、収納時最大、手摺りを 下げた状態 | 79.75 in | 203 cm |
| 幅、標準タイヤ | 92 in | 234 cm |
| 幅、ハイフローテーションタイヤ | 101 in | 257 cm |
| 長さ、作業台収納時<br>1 つの延長部デッキ付きのモデル | 155.25 in | 394 cm |
| 長さ、作業台延長時<br>1 つの延長部デッキ付きのモデル | 212.5 in | 540 cm |
| 長さ、作業台収納時<br>2 つの延長部デッキ付きのモデル | 156.5 in | 398 cm |
| 長さ、作業台延長時<br>2 つの延長部デッキ付きのモデル | 258.5 in | 657 cm |
| 最大積載荷重 | 2,500 lbs | 1,134 kg |
| 最大風速 | 28 mph | 12.5 m/秒 |
| ホイールベース | 112 in | 284 cm |
| 旋回半径 (外側) | 210 in | 533 cm |
| 旋回半径 (内側) | 85 in | 216 cm |
| 最低地上高 | 14 in | 36 cm |

**重量**

(機械の重量は、オプション構成により異なります。機械の重量についてはシリアルラベルをご覧ください。)

| 作業台寸法 | | |
|---|---|---|
| 作業台の長さ×幅、収納済み、シングルデッキ | 155.25 in × 72 in | 3.9 × 1.8 m |
| 作業台の長さ×幅、収納済み、シデュアルデッキ | 156.5 in × 72 in | 4.0 × 1.8 m |
| 作業台延長部長さ、前部 | 60 in | 1.5 m |
| 作業台延長部長さ、後部 | 48 in | 1.2 m |
| **周囲操作温度** | | -20°F ～ 120°F<br>-29°C ～ 49°C |

| 走行速度 | | |
|---|---|---|
| 収納時、最大 | 4 mph | 6.4 km/時 |
| 作業台上昇時、最大 | 0.7 mph<br>40 ft/39 秒 | 時速 1.1 km<br>12.2 m/39 秒 |
| 操作パネル | | 比例 |
| 作業台 AC コンセント | | |
| 最大油圧力(機能) | 3,500 psi | 241 バール |
| タイヤ サイズ | | 315/55D20-12 |
| **最大定格横勾配、収納状態** | | 50%(26°) |
| **最大勾配の定格値、収納状態** | | 50%(26°) |

注記:定格勾配は、1 名の作業員が作業台にいる場合と車輪と地面との摩擦の状態により異なります。作業台への追加の重量は定格勾配を低減する場合があります。

| | |
|---|---|
| **最大許容外圧力** | 「傾斜センサー動作設定」の項参照 |
| **機械分類** | ISO 16368 で定義されているグループ A/Type 3 |

| 床荷重表 | | |
|---|---|---|
| 最大輪荷重 | 4,789 lbs | 2,172 kg |
| 最大アウトリガー荷重<br>(搭載されている場合) | 4,789 lbs | 2,172 kg |
| タイヤ接地圧 | 117 psi | 8.22 kg/cm$^2$<br>805 kPa |
| 車体使用床面積当りの圧力(タイヤ上) | 169 psf | 825 kg/m$^2$<br>8.09 kPa |
| 車体使用床面積当りの圧力(アウトリガー上) | 146 psf | 713 kg/m$^2$<br>6.97 kPa |

注記:床荷重表は概算値であり、オプションによる構成の違いを考慮したものではありません。安全上の要素を考慮して使用してください。

Genie では製品の改良を重ねていくことを方針としています。このため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

# 仕様

| GS-4390 | | |
|---|---|---|
| 高さ、操作時最大 | 49 ft | 14.9 m |
| 高さ、作業台最大 | 43 ft | 13.1 m |
| 高さ、収納時最大、手摺りを 上げた状態 | 115.5 in | 293 cm |
| 高さ、収納時最大、手摺りを 下げた状態 | 88.75 in | 225 cm |
| 幅、標準タイヤ | 92 in | 234 cm |
| 幅、ハイフローテーションタイヤ | 101 in | 257 cm |
| 長さ、作業台収納時<br>1 つの延長部デッキ付きのモデル | 155.25 in | 394 cm |
| 長さ、作業台延長時<br>1 つの延長部デッキ付きのモデル | 212.5 in | 540 cm |
| 長さ、作業台収納時<br>2 つの延長部デッキ付きのモデル | 156.5 in | 398 cm |
| 長さ、作業台延長時<br>2 つの延長部デッキ付きのモデル | 258.5 in | 657 cm |
| 最大積載荷重 | 1,500 lbs | 680 kg |
| 最大風速 | 28 mph | 12.5 m/秒 |
| ホイールベース | 112 in | 284 cm |
| 旋回半径 (外側) | 210 in | 533 cm |
| 旋回半径 (内側) | 85 in | 216 cm |
| 最低地上高 | 14 in | 36 cm |

**重量**

(機械の重量は、オプション構成により異なります。機械の重量についてはシリアルラベルをご覧ください。)

| 作業台寸法 | | |
|---|---|---|
| 作業台の長さ×幅、収納済み、シングルデッキ | 155.25 in × 72 in | 3.9 × 1.8 m |
| 作業台の長さ×幅、収納済み、シデュアルデッキ | 156.5 in × 72 in | 4.0 × 1.8 m |
| 作業台延長部長さ、前部 | 60 in | 1.5 m |
| 作業台延長部長さ、後部 | 48 in | 1.2 m |
| **周囲操作温度** | -20°F ～ 120°F | -29°C ～ 49°C |

| 走行速度 | | |
|---|---|---|
| 収納時、最大 | 4 mph | 6.4 km/時 |
| 作業台上昇時、最大 | 0.7 mph<br>40 ft/39 秒 | 時速 1.1 km<br>12.2 m/39 秒 |
| 操作パネル | | 比例 |
| 作業台 AC コンセント | | 標準 |
| 最大油圧力(機能) | 3,500 psi | 241 バール |
| タイヤ サイズ | | 315/55D20-12 |
| **最大定格横勾配、収納状態** | | 50%(26°) |
| **最大勾配の定格値、収納状態** | | 50%(26°) |

注記:定格勾配は、1 名の作業員が作業台にいる場合と車輪と地面との摩擦の状態により異なります。作業台への追加の重量は定格勾配を低減する場合があります。

| | |
|---|---|
| **最大許容外圧力** | 「傾斜センサー動作設定」の項参照 |
| **機械分類** | ISO 16368 で定義されているグループ A/Type 3 |

| 床荷重表 | | |
|---|---|---|
| 最大輪荷重 | 4,777 lbs | 2,167 kg |
| 最大アウトリガー荷重<br>(搭載されている場合) | 4,777 lbs | 2,167 kg |
| タイヤ接地圧 | 117 psi | 8.20 kg/cm$^2$<br>803 kPa |
| 車体使用床面積当りの圧力<br>(タイヤ上) | 169 psf | 825 kg/m$^2$<br>8.07 kPa |
| 車体使用床面積当りの圧力<br>(アウトリガー上) | 145 psf | 708 kg/m$^2$<br>6.95 kPa |

注記:床荷重表は概算値であり、オプションによる構成の違いを考慮したものではありません。安全上の要素を考慮して使用してください。

Genie では製品の改良を重ねていくことを方針としています。このため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

# 仕様

| GS-5390 | | |
|---|---|---|
| 高さ、操作時最大 | 59 ft | 18 m |
| 高さ、作業台最大 | 53 ft | 16.2 m |
| 高さ、収納時最大、手摺りを 上げた状態 | 124 in | 315 cm |
| 高さ、収納時最大、手摺りを 下げた状態 | 97.25 in | 247 cm |
| 幅、標準タイヤ | 92 in | 234 cm |
| 幅、ハイフローテーションタイヤ | 101 in | 257 cm |
| 長さ、作業台収納時<br>1 つの延長部デッキ付きのモデル | 162 in | 4.9 m |
| 長さ、作業台延長時<br>1 つの延長部デッキ付きのモデル | 212.5 in | 540 cm |
| 長さ、作業台収納時<br>2 つの延長部デッキ付きのモデル | 192 in | 488 cm |
| 長さ、作業台延長時<br>2 つの延長部デッキ付きのモデル | 258.5 in | 657 cm |
| 最大積載荷重 | 1,500 lbs | 680 kg |
| 最大風速 | 28 mph | 12.5 m/秒 |
| ホイールベース | 112 in | 284 cm |
| 旋回半径 (外側) | 210 in | 533 cm |
| 旋回半径 (内側) | 85 in | 216 cm |
| 最低地上高 | 14 in | 36 cm |

**重量**

(機械の重量は、オプション構成により異なります。機械の重量についてはシリアルラベルをご覧ください。)

| 作業台寸法 | | |
|---|---|---|
| 作業台の長さ×幅、収納済み、シングルデッキ | 155.25 in × 72 in | 3.9 × 1.8 m |
| 作業台の長さ×幅、収納済み、シデュアルデッキ | 156.5 in × 72 in | 4.0 × 1.8 m |
| 作業台延長部長さ、前部 | 60 in | 1.5 m |
| 作業台延長部長さ、後部 | 48 in | 1.2 m |
| **周囲操作温度** | -20°F ～ 120°F | -29°C ～ 49°C |

| 走行速度 | | |
|---|---|---|
| 収納時、最大 | 4 mph | 6.4 km/時 |
| 作業台上昇時、最大 | 0.7 mph<br>40 ft/39 秒 | 時速 1.1 km<br>12.2 m/39 秒 |
| 操作パネル | | 比例 |
| 作業台 AC コンセント | | 標準 |
| 最大油圧力(機能) | 3,500 psi | 241 バール |
| タイヤ サイズ | | 315/55D20-12 |
| **最大定格横勾配、収納状態** | | 40%(22°) |
| **最大勾配の定格値、収納状態** | | 40%(22°) |

注記:定格勾配は、1 名の作業員が作業台にいる場合と車輪と地面との摩擦の状態により異なります。作業台への追加の重量は定格勾配を低減する場合があります。

| | |
|---|---|
| **最大許容外圧力** | 「傾斜センサー動作設定」の項参照 |
| **機械分類** | ISO 16368 で定義されているグループ A/Type 3 |

| 床荷重表 | | |
|---|---|---|
| 最大輪荷重 | 5,349 lbs | 2,426 kg |
| 最大アウトリガー荷重<br>(搭載されている場合) | 5,349 lbs | 2,426 kg |
| タイヤ接地圧 | 130.5 psi | 9.18 kg/cm$^2$<br>900 kPa |
| 車体使用床面積当りの圧力(タイヤ上) | 189 psf | 922 kg/m$^2$<br>9.04 kPa |
| 車体使用床面積当りの圧力(アウトリガー上) | 163 psf | 796 kg/m$^2$<br>7.78 kPa |

注記:床荷重表は概算値であり、オプションによる構成の違いを考慮したものではありません。安全上の要素を考慮して使用してください。

Genie では製品の改良を重ねていくことを方針としています。このため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

代理店:

www.genielift.com